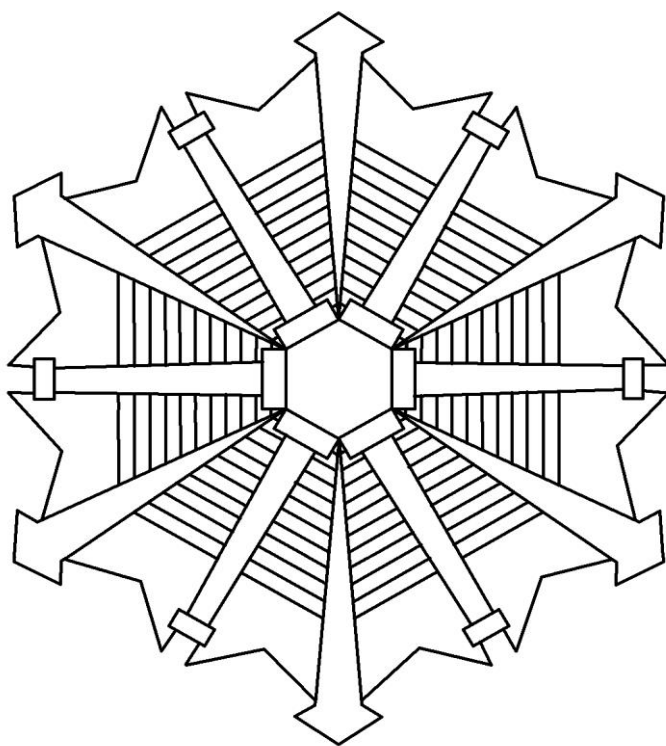


消 防 年 報

令和 7 年版



葉 山 町 消 防 本 部

町章



町の花

つつじ



町の木

くろまつ



町の鳥

うぐいす



ま え が き

この年報は、令和 6 年中（一部令和 6 年度等）における葉山町の消防現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防に対する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、気象統計は葉山町消防署の観測によるものです。

令和 7 年 9 月

葉 山 町 消 防 本 部

目 次

【報告編】

第1章 消防・救助活動について

火災の状況	1
救助の状況	1
災害への出場状況	2
救急支援出場及び救命活動	2
消火活動及び救助活動体制の強化	3
緊急消防援助隊の派遣	3

第2章 多様化する災害への対応について

車両整備状況	5
消防水利	5
NBC災害への対応	5

第3章 救急活動について

救急業務の実施状況	7
救急業務高度化の推進	8
応急手当の普及啓発	9

第4章 通信指令業務について

消防指令センター	10
119番通報受信状況	10
ファクスからの119番通報	11
インターネットを利用した通報	11
119番映像通報システム（LIVE119）	12
町民への災害発生情報の提供	12

第5章 予防行政について

火災予防広報関係	13
----------------	----

防火対象物関係	14
危険物関係	14
住宅防火対策の推進	15

第6章 消防団の活動について

葉山町消防団の紹介	17
消防団の主な活動	17
令和6年度に実施した主な活動	17
消防団員の募集	18
消防団協力事業所表示制度	18
葉山町学生消防団活動認証制度	18
機能別団員制度	19

【資料編】

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ	20
--------------------------	----

町勢

位置	39
面積・人口・世帯数	40
地区別情勢	40
人口の推移	41

消防情勢

消防本部・署・団設置	42
消防本部・署機構図	42
消防本部事務分掌	43
消防署事務分掌	44
消防本部・署・団情勢調	46
消防本部・署・団車両等	46
消防本部・団本部署所配置図	47

庶務関係

消防予算額	48
町予算と消防予算の比	48
消防費と人口・世帯の比	48
消防職員定員・実員	49
消防職員年齢	49
消防職員勤続年数	49
教育実施状況	50
特殊技能資格者	51

警防関係

火災概況	52
火災種別と発火源	52
火災発生状況	53
火災覚知方法時間別状況	54
地区別火災発生状況	55
時間別火災発生状況	56
消防署の消防車両等の出場状況	57
令和6年中出場件数	58
消防署出場件数前年比較（令和5年中・令和6年中）	59
過去5年間の山中救助出場件数	60
年別所要時間別山中救助（覚知～救出完了）件数	60
消防本部・署現有車両機械	61
警防用機器資材	62
消防水利現勢	64
空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果	65
過去3年間の枯草繁茂状況	65

指令関係

町の通信施設	66
消防通信システム系統図	67
消防指令センター・消防本部・消防署回線	68

消防指令センター・消防本部・消防署通信機器	69
無線局配置状況	70
防災行政無線システム構成図	71
防災通信機器等	72
消防団通信機器等	74
119番着信件数(固定・IP電話)	75
119番着信件数(携帯電話)	75
FAXからの通報件数	75
NET119を利用するの通報件数	75
NET119登録者数	75
LIVE119利用件数	75

気象関係

月別気象調	76
風向頻度調	77

予防関係

防火対象物・防火管理者選任状況	78
5階建て以上防火対象物状況	79
防火対象物届出状況	80
その他届出状況	81
危険物関係届出状況	82
火災予防査察実施状況	83
危険物施設状況	84
地区別危険物施設状況	85
地区別危険物貯蔵取扱状況	85
危険物施設許認可処理状況	86
用途別建築同意等事務処理状況	87
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況	88
過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況	88

救急関係

救急概況	89
町内外在住別搬送人員状況	89
傷病程度別搬送人員状況	89
発生日別状況	89
救急救命士資格者及び再教育実施状況	89
救急出場・搬送人員状況	90
月別救急出場・搬送人員状況	91
過去5年間の救急出場・搬送人員状況	92
過去5年間の救急出場・搬送人員状況の推移	92
町内外在住別救急搬送人員状況	93
時間別救急出場状況	93
曜日別救急出場状況	94
覚知別救急出場状況	94
地区別救急出場状況	94
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況	95
救急隊員の行った応急処置	96
収容状況	97
医療機関紹介状況	97
応急手当普及啓発活動実施状況	97

救助関係

救助概況	98
救助出場人員・活動人員状況	98
発生場所別救助人員状況	98
救助出場車両・活動車両状況	99
発生場所別救助出場(活動)状況	99
時間別救助出場(活動)状況	100
地区別救助出場状況	100

消防団関係

消防団組織図	101
--------------	-----

消防団員定員・実員	101
消防団員報酬	101
消防団員出動費用弁償	101
消防団詰所所在地	102
消防団員配置	102
消防団員年齢	103
消防団員勤続年数	104
消防団出場状況	104
消防団現有車両機械	105
消防団備品配置	106

報 告 編

第1章 消防・救助活動について

1 火災の状況

- 火災件数

令和6年中の火災発生件数は5件です。
火災種別ごとに見てみると、建物火災1件、車両火災1件、その他の火災3件で、船舶火災、航空機火災、林野火災の発生はありません。

- 建物焼損面積と火災損害額

令和6年中の建物火災による焼損面積はなく、損害額は551千円です。

- 出火原因

令和6年中の出火原因は、「金属の接触部が過熱する」、「高温物が触れる」、「火の粉が散る遠くへ飛火する」、「放火」、「放火の疑い」がそれぞれ1件となっています。

- 火災による死傷者

令和6年中の火災による負傷者及び死者は発生していません。

2 救助の状況

- 救助出場について

令和6年中の救助出場件数は31件で、そのうち23人を救出しています。
内訳は、表1のとおりです。

令和6年中

	出場件数(件)	救出人員(人)
火 災	2	
交 通 事 故	2	2
水 難 事 故	5	5
機 械 に よ る 事 故		
建 物 等 に よ る 事 故	12	7
そ の 他 の 事 故	10	9
合 計	31	23

表1 救助出場件数及び救出人員内訳

3 災害への出場状況

● 消防隊の活動について

令和6年中の消防隊の活動は、火災や救助出場のほかに、PA 連携出場（傷病者の搬送支援や救命活動といった救急隊の活動を支援する）等、さまざまな災害に出場しています。

種別ごとの出場状況は、表2のとおりです。

令和6年中

内 訳	出場件数 (件)	出場人員 (人)	出場車両 (台)
火 災	7	124	41
救 助	31	271	104
危 険 排 除	20	115	48
偵 察	37	183	78
特 別 災 害			
そ の 他			
救 急 支 援 出 場	190	919	368
調 査	13	57	26

表2 消防隊等出場状況

※火災及び救助出場にあつては、他市消防（局）本部、消防団員及び消防団車両を含みます。

4 救急支援出場及び救命活動

救急支援出場とは、消防隊と救急隊が連携して傷病者の搬送、救護処置を迅速かつ確実に行う行動をより充実させ、心肺機能が停止した傷病者に対して多くの救急資器材を必要とする高度な救命処置を行う場合や、階段・通路等が狭いために傷病者の搬送が難しい場合等、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、119番通報の内容から必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車両を同時に出場させ、救急隊と消防隊が連携した救急活動を行うものです。

令和6年中の救急支援出場種別ごとの件数は、救命108件、特定82件となっています。救急支援出場の出場基準は、次のとおりです。

● 救命

- (1) 119番通報の内容から心肺機能停止状態が予想され、迅速な救命処置等が必要な場合。
- (2) 救急隊現場到着時に心肺機能停止状態であり、迅速な救命処置が必要な場合。

● 特定

- (1) 中高層マンションや海水浴場等、救急隊員のみでは対応が困難な場合。
- (2) 幹線道路での活動で、傷病者や救急隊員等の安全を確保する必要がある場合。
- (3) 救急事案頻発により、救急隊の到着が遅延する場合。

5 消火活動及び救助活動体制の強化

近年の複雑多様化する消防活動の困難性や危険性の増大に対し、消火・救助活動体制を強化するため、平成 24 年度から大型照明・クレーンを装備した救助工作車を運用しています。また、平成 27 年度からは、CAFS 付消防ポンプ自動車の運用を開始し、令和 3 年度には 2 台目の運用も開始しています。

救助活動現場も都市型へと変化し、特殊災害や自然災害への対応も必要不可欠となっています。装備の充実や隊員の育成が求められており、消防学校や各種教育機関へ隊員を派遣し、年間を通して実践的な訓練を計画的に行っています。

また、広域化する災害に対しては、他機関と合同での活動が必要不可欠であり、災害の規模や状況に応じた的確な活動が要求されています。

水難事故においても、初動体制を強化するため、平成 22 年度に配備した水難救助艇を令和 6 年に更新し、あわせて保管場所を葉山港から消防署へ変更したことから、各海岸からの迅速な出艇が可能となっています。



令和 6 年更新水難救助艇（海岸からの出艇訓練風景）

6 緊急消防援助隊の派遣

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災での教訓（人命救助活動等を行う応援部隊の早期出動の必要性等）を踏まえて平成 7 年に創設された全国的な消防応援活動の制度です。被

災地の消防力では対応困難な大規模災害や特殊災害等の発生に際して、消防庁長官の出動の求め又は指示により出動し、現地で消火活動や救助活動等を行うもので、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では宮城県仙台市へ当町から 10 人、令和 3 年 7 月 3 日に発生した土石流災害では静岡県熱海市へ 7 人、令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震では石川県能登半島へ 17 人の消防職員を派遣しています。

第2章 多様化する災害への対応について

1 車両整備状況

当町では、火災の予防や警戒、鎮圧、救急業務や人命救助等の災害に備え、人口や地勢等の実情を勘案し、必要な車両を配備しています。

令和7.4.1現在

車 種	台 数
指揮車	1
消防ポンプ自動車	2
救助工作車	1
高規格救急自動車	2
非常用救急自動車	1
機動積載車	1
機動車	1
資材搬送車	2
二輪車	2
総 数	13



保有車両 消防ポンプ自動車

2 消防水利

消防水利は、消火活動を行う上で、なくてはならないものです。その種類は、消火栓や防火水槽、河川、池、プール、井戸等があります。

これらの配置等は国の基準である「消防水利の基準」で定められており、最も活用されているのは、消火栓と防火水槽です。

- 消火栓は水道配管に取付けられているもので、町内に 450 基（令和7年4月1日現在、私設含む）を道路歩道上等に設置しています。
- 防火水槽は町内に 164 基（令和7年4月1日現在、私設含む）を設置しています。
水道の断水・減水時や大地震時に消火栓が使用できないときの備えとして整備し、現在では、耐震性防火水槽の整備に努めています。

3 NBC災害への対応

NBC災害とは放射性物質（Nuclear）、生物剤（Biological）、化学剤（Chemical）による特殊災害のことをいいます。この特殊災害に対応するため、NBC対応資機材を保有して

います。

令和 7. 4. 1 現在

対 応 資 機 材	個 数
有 毒 ガ ス 測 定 器	1
複 合 型 ガ ス 測 定 器	3
放 射 線 測 定 器	3
個 人 用 線 量 計	17
放 射 能 防 護 服	5
陽 圧 式 化 学 防 護 服	2
化 学 防 護 服	39

保有 NBC 対応資機材

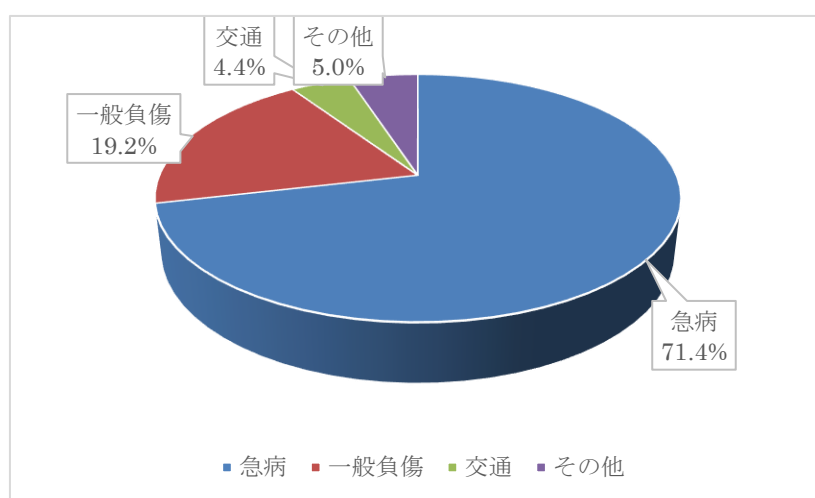
第3章 救急活動について

1 救急業務の実施状況

● 救急出場の状況

令和6年中の救急自動車による救急出場件数は1,914件、搬送人員は1,800人となっており、町民の約18人に1人が救急隊によって搬送されたことになります。

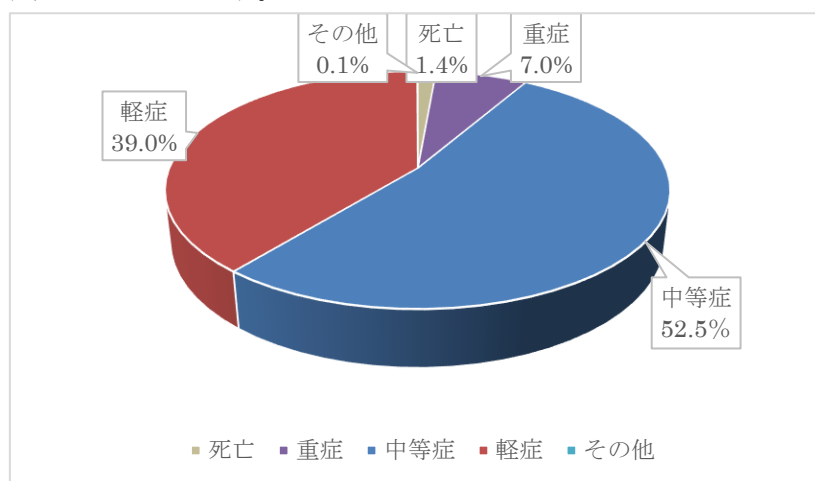
事故種別ごとにみると、搬送人員数が上位のものは、急病1,285人（71.4%）、一般負傷345人（19.2%）、交通79人（4.4%）、その他91人（5.0%）となっています。



事故種別ごとにみる搬送人員の状況

● 傷病程度別搬送人員の状況

令和6年中の救急自動車による搬送人員1,800人のうち、死亡25人（1.4%）、重症126人（7.0%）、中等症946人（52.5%）、入院加療を必要としない軽症702人（39.0%）その他1人（0.1%）となっています。



2 救急業務高度化の推進

● 救急救命士の処置範囲の拡大

(1) 除細動

平成 3 年の救急救命士法の施行により、医師の具体的指示の下に救急救命士が行っていた除細動は、平成 15 年 4 月から医師の包括的指示の下で行うことが可能となっています。

※包括的指示とは、専門医師に救急救命士が行う救命処置に対する指示、救急隊員への指導、助言体制等をいう。

(2) 気管挿管

平成 16 年 7 月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。

更に平成 23 年 8 月から追加講習と病院実習を修了した救急救命士は、気管内チューブによる気道確保の安全性や確実性が高まるビデオ硬性挿管用喉頭鏡の使用が可能となっています。

(3) 薬剤投与

平成 18 年 4 月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。更に平成 21 年 3 月からアナフィラキシーショックによって生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）を処方されている方であった場合には、救急救命士がアドレナリン製剤（エピペン）を投与することが可能となっています。

(4) 心肺機能停止前の静脈路確保、輸液、血糖測定、ブドウ糖溶液の投与

平成 26 年 4 月から一定の講習を受講し、認定を受けた救急救命士に認められています。三浦半島地区では平成 27 年 10 月 1 日から運用が開始されています。

● メディカルコントロール体制の充実

メディカルコントロール体制とは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証する仕組みをいい、三浦半島地区（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）の医療機関と消防機関とが連携強化を図る体制が構築されています。

主な体制としては、次のとおりです。

- (1) 救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置に対しての医師の常時指示、指導、助言体制。
- (2) 医師によって医学的観点から検証が行われ、反映されるための事後検証体制。
- (3) 救急救命士が行う高度な救命処置等を再教育するための病院実習。
- (4) 救急救命士の処置範囲拡大に伴う講習と実習。

3 応急手当の普及啓発

救急要請から救急隊が現場に到着するまでに要した時間は、令和6年中の平均では8.6分であり、この間に救急現場に居合わせた人による応急手当が適切に行われることで、大きな救命効果が期待されます。

当町でも救命講習の普及啓発を推進しており、実習を中心とした基本的な心肺蘇生法やAEDの安全な使用方法等について講習を行い、受講者には修了証を交付しています。講習会は、「広報はやま」等の広報誌で受講者の募集を行っています。

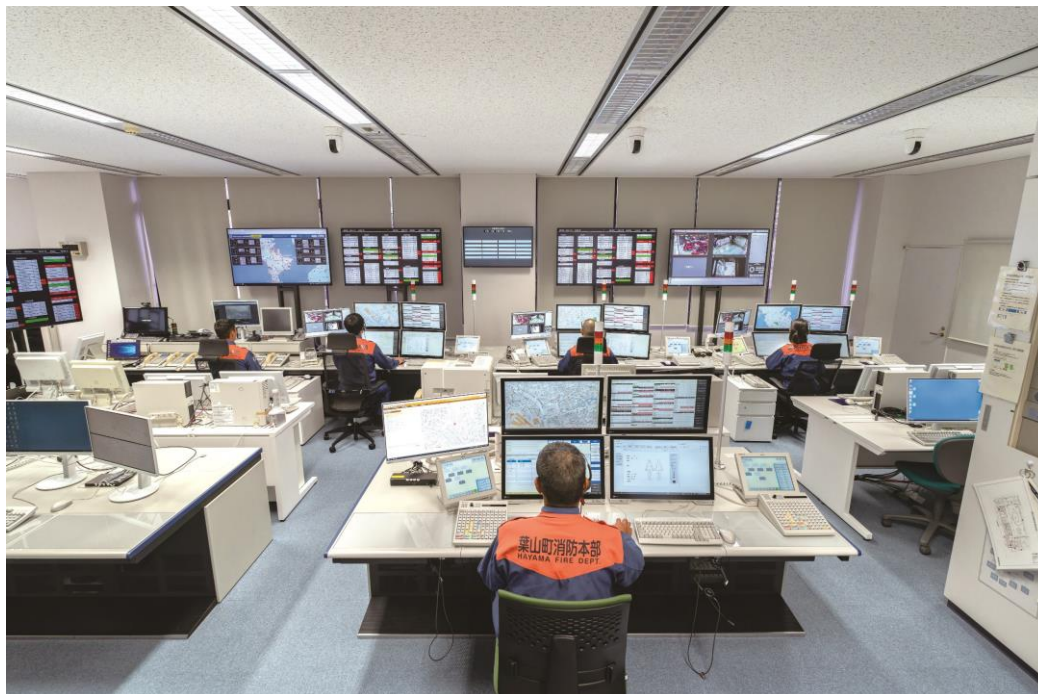
また、規定の講習以外にも、要望に応じた「その他の救急講習」を行っています。



救急講習会

第4章 通信指令業務について

1 消防指令センター



横須賀市・葉山町消防指令センター

火災や救助、救急等の出場は、そのほとんどが町民等からの119番通報から始まります。

当町は、平成27年4月1日から横須賀市と共同で119番通報の受付、消防車・救急車の出場指令を行う「消防通信指令事務の共同運用」に参画しています。

消防指令システムでは、119番通報を受信すると、統合型位置情報システムと地図等検索装置によって瞬時にその通報場所の地図を表示し、災害種別の決定と同時に予告指令を行い、災害通報を受信中であることを消防署に通知して出場準備を促します。

また、全ての車両の位置等を常時把握しており、災害現場に最も早く到着できる車両を自動的に編成し、消防署へ出場指令の放送と指令書を送信します。

各車両に搭載している車両運用端末装置には、出場指令と同時に災害現場の地図と指令情報を表示させ、活動中に防火対象物や危険物、水利、災害時要援護者等の支援情報を表示し、消防隊・救急隊は、これらの情報を活用して的確な現場活動を行っています。

2 119番通報受信状況

令和6年中の町内からの119番通報は2,797件あり、1日平均約8件、約188分に1件の割合で119番を受信しています。

そのうち、固定電話（NTT東日本）からの通報は365件（13%）、IP電話（NTT以外

の有線電気通信)からの通報は831件(30%)、携帯電話からの通報は1,601件(57%)となっており、固定電話、I P電話を合わせた有線電話が43%となっています。

受信内容は、火災や救助、救急等の緊急性のある通報が2,082件で74%を占めていますが、病院等の問い合わせや、いたずら、間違い・無言等の緊急性のない通報(訓練・試験を除く)が594件で21%を占めていることから、適切な119番通報を心がけるよう呼びかけています。

令和6年中

		119番全体	固定電話	I P電話	携帯電話
緊急性あり	火 災	14		2	12
	救 急	1,929	176	698	1,055
	救 助	15	4	1	10
	そ の 他 災 害	32	2	5	25
	他 都 市 転 送	92		5	87
	小 計	2,082	182	711	1,189
緊急性なし	問 い 合 わ せ	119	7	37	75
	い た ず ら	2			2
	間 違 い、無 言	220	12	26	182
	そ の 他	253	91	31	131
	小 計	594	110	94	390
そ の 他	訓 練	77	31	26	20
	試 験	44	42		2
	小 計	121	73	26	22
合 計		2,797	365	831	1,601

119番通報受信状況

3 ファクスからの119番通報

耳や言葉の不自由な方から、火災や救助、救急等の出場要請を受信するため、119番専用回線によるファクス通報を運用しています。更に平成27年4月1日から位置情報通知システムを活用し、より迅速な対応を図っています。

4 インターネットを利用した通報

平成26年7月1日から聴覚障害がある方や音声による緊急通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォンで緊急通報を行うことができる「W e b (ウェブ) 119 サービス」の運用を開始し、平成29年12月からは「N E T (ネット) 119 サービス」に移行し運用していま

す。

このサービスは、事前登録した携帯電話やスマートフォンから、簡単なボタン操作でGPSによる位置情報を付加した緊急通報を行うことができ、その通報は、消防指令センターで受信します。

消防指令センターと通報者が文字で対話する機能（チャット機能）を使用し、通報場所の特定や状況の把握をより詳細に行うことができます。

5 119 番映像通報システム（L I V E 119）

令和 5 年 8 月 1 日から通報者がスマートフォンで現場の映像を撮影し、消防指令センターに送信することで、リアルタイムで状況確認や指示を行うことのできる「119 番映像通報システム（L I V E 119）」の運用を開始しています。詳しくは、葉山町ホームページをご確認ください。

6 町民への災害発生情報の提供

消防指令センターでは、消防車がサイレンを吹鳴して緊急走行する災害事案について、災害発生場所や活動状況等を消防本部テレホンガイドとホームページでリアルタイムに案内しています。

災害情報のご案内	電話	046-824-8119（自動音声）
	H P	http://hayama.fire.yokosuka.kanagawa.jp/saigai/hayama.html 

第5章 予防行政について

1 火災予防広報関係

町民の生命・身体・財産を火災から未然に防ぐため、さまざまな広報活動を行い、防火意識の向上を図っています。

● 火災予防運動

春、秋の火災予防運動期間中に消防車両による町内巡回、懸垂幕、のぼり旗による広報のほか、町公式ホームページ、町広報誌、町公式 LINE による広報を行っています。また、消防団の協力のもと消防団車両による町内巡回も行っています。

● 葉山町総合防災訓練

令和6年度葉山町総合防災訓練において、住宅用火災警報器の普及啓発活動、ノベルティの配布、初期消火訓練体験や煙体験のブースを設け、火災予防広報活動を行いました。今後もイベント開催時には、火災予防に関する広報を行い、消防業務への理解と火災予防の啓発に努めています。

● 山火事防止

春の火災予防運動期間中にハイキングコースを巡回し、山火事防止看板の点検を行い、老朽化した看板を適宜交換しています。また、コース内にある可搬ポンプの点検を行い、山火事防止に努めています。



● 防火ポスターコンクール

幼少年期の防火意識の啓発や向上を目的に町内小学4年生を対象とした防火ポスターコンクールを毎年開催しています。令和6年度は95作品の応募があり、教育総合センター学びの広場にて作品展を行いました。また、優秀な作品の中から住宅用防災機器等普及啓発用広告ポスターを制作し、公共施設や町内物品販売店舗等に掲出するなど、町民の方々に広く火災予防を呼びかけています。



● 住宅用火災警報器の設置促進横断幕の購入

住宅防火の推進のため、横断幕を購入しました。消防庁舎前に掲示するほか、各種イベント開催時に活用し、住宅用火災警報器の設置促進に努めています。



2 防火対象物関係

町内の防火対象物の消防用設備等設置検査や消防訓練に積極的に立会い、消火や避難、通報訓練の指導を行うとともに、関係者への防火指導や防火教育を行い、防火対象物の火災を未然に防げるよう努めています。



● 防火対象物査察

年間を通して町内の飲食店や物品販売店舗、宿泊施設、福祉施設、その他の防火対象物の査察を積極的行っています。また、消防用設備等の維持管理や避難施設の管理状況、防火管理体制等を確認し、消防法令違反に対しての是正指導を行い、安心安全な町づくりに努めています。

3 危険物関係

町内で危険物を貯蔵・取扱う施設の安全管理体制の検査や整備等を推進し、火災や流出事故等の災害を防止するよう努めています。

● 危険物安全週間

消防車両による広報活動や懸垂幕、のぼり旗による防火広報を行っています。また、期間中は葉山町危険物安全協会の事業として、消防庁舎にて葉山町危険物安全協会会員を対象に安全研修会を行っており、令和6年度は危険物に関連する講習や初期消火訓練を行っています。



● 危険物施設査察

6月第2週の危険物安全週間中に、危険物施設からの火災や流出事故を未然に防止することを目的として、町内の危険物施設の査察を行っています。



● 路上査察等

秋の火災予防運動期間中に、危険物移動タンク貯蔵所や危険物運搬車両による事故を未然に防止するため、常置場所や消防庁舎前にて査察を行っています。

4 住宅防火対策の推進

建物火災のうち住宅火災の占める割合は高く、住宅火災による死者の7割超が高齢者で、多くが就寝時間帯の逃げ遅れにより犠牲となっています。また、建物火災の死者数に対する住宅火災の死者数の割合は約9割となっており、非常に高くなっています。住宅火災による死者を未然に防ぐため、住宅防火対策への取り組みを行っています。

● 住宅用防災機器等

住宅の出火防止や消火、避難等の対策には、安全装置が設置されている暖房器具や調理器具の使用、住宅用消火器やエアゾール式簡易消火具、住宅用自動消火装置、住宅用スプリンクラー設備等の設置が有効と考えられることから、これらの普及について積極的に推奨していきます。

● 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、全ての住宅への設置義務化から 10 年以上が経過していることから、設置済の住宅においても警報器の電池寿命を迎えています。

火災の早期発見と大切な家族や財産を守るためにも、住宅用火災警報器の設置率の向上や定期的な点検、電池切れの際の本体交換についての広報活動を継続的に実施していきます。

第6章 消防団の活動について

1 葉山町消防団の紹介

消防団の活動は特別なことではありません。「自分たちの町は自分たちで守る」その意識だけで参加できます。当町でも、会社員や自営業、いろいろな方が地域の分団（木古庭・上山口・下山口・一色・堀内・長柄）に入団し活動しています。

2 消防団の主な活動

- 火災が発生した場合、消防署の消防隊と同時に出場し、消火作業にあたります。
- 台風等の警戒や実際に被害が発生した場合の出場に備え、各詰所に参集します。
- 管内消防水利（消火栓、防火水槽等）の点検・確認を行っています。
- その他に、各分団長が計画する訓練等を行っています。

3 令和6年度に実施した主な活動

- 新入団員・機関員訓練（5月）
- 神奈川県消防操法大会（7月）
- 秋季火災予防運動（11月）
- 消防署・消防団合同連携訓練（11月）
- 歳末火災特別警戒（12月）
- 葉山町消防出初式（1月）
- 春季火災予防運動（3月）



4 消防団員の募集

町内に居住されている方のほか、当町在勤者につきましても入団ができるようになっています。当町に在住・在勤されている方で、通常は各自の職業に従事しながら火災や風水害、地震等の災害に際して消防活動に従事する消防団員を募集しています。入団の申請は電子申請が可能です。

入団申請QRコード



5 消防団協力事業所表示制度

当町では、消防団員の約53%が被用者であることから、消防団員を雇用する事業所の消防団活動への一層の理解と協力を得るため、消防団活動に協力している事業所を顕彰する「消防団協力事業所表示制度」を行っています。「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示証のマークを自社ホームページ等で広く公表することができます。



6 葉山町学生消防団活動認証制度

当町では、消防団員の高齢化が進んでいることから、若い世代の入団を促進することを目的に葉山町学生消防団活動認証制度を導入しています。

この制度は、葉山町消防団員として消防団活動を行ってきた学生の功績を当町が認証し、就職活動等において、町が交付する『学生消防団活動認証証明書』を企業等へ提出し、消防団として社会貢献してきた実績を評価してもらえるようアピールすることができる制度です。

対象は、当町に居住する18歳以上の学生等で、当町の消防団に所属し、1年以上継続的に消防団活動を行った方です。

7 機能別団員制度

当町では、「消防団員の役割の多様化への対応」を図るため、総務省消防庁が推奨する特定の活動や役割のみに参加する消防団員である「機能別団員制度」を導入しています。

機能別団員は、地震や台風等で被害が大きい災害が発生した場合、これまでの消防団員（基本団員）だけでは人手不足となる場合に活動していただきます。平常時は、災害が起きたときのための訓練や地域の方々に防火防災に係る啓発活動等を行い、通常の火災や風水害での災害対応は行いません。



Recruitment poster for Hayama Town Volunteer Fire Corps. The poster features a yellow background with a large red flame graphic on the right. A firefighter in a red helmet and uniform is shown holding a hose, spraying water towards the flame. The text is in Japanese and English.

あなたにもできることがあります
消防団員募集

葉山町消防団
VOLUNTEER FIRE CORPS

お問い合わせ
葉山町消防本部消防総務課
046-876-0119
syousou@hayama.kanagawa.jp



資料編

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長 佐川正雄 就任 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、副班長 35 名、団員 237 名、計 323 名 消防ポンプ自動車 1 台 三輪消防ポンプ自動車 1 台 腕用ポンプ 8 台
昭和 23 年 (1948)	御用邸より手びきガソリンポンプ 1 台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、団員 342 名、計 393 名
昭和 25 年 (1950)	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 3 台を購入し、木古庭、上山口、長柄に配置する。
昭和 26 年 (1951)	第 2 代消防団長 矢嶋儀助 就任 腕用ポンプ 2 台を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、下山口に配置する。
昭和 27 年 (1952)	御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車（52 年式ニッサン R2B）2 台を購入し、下山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車（36 年式フォード）を長柄に配置替えする。
昭和 29 年 (1954)	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（37 年式ダッジ）の修理改造を行う。
昭和 30 年 (1955)	第 3 代消防団長 伊原 若 就任

昭和 31 年 (1956)	木古庭の消防器具置場を増築する。 木古庭と長柄にサイレンを設置する。 消防ポンプ自動車 (38 年式フォード) 1 台を購入し、木古庭に配置する。								
昭和 32 年 (1957)	腕用ポンプ 5 台を廃棄する。								
昭和 33 年 (1958)	小型動力ポンプ (トーハツ VF-3) B-3 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50、トーハツ VF-48) 2 台を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (トヨタ FC70 型) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (37 年式ダッチ) を一色に配置替える。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年式ニッサン R2B) を長柄に配置替える。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (36 年式フォード) を廃車する。								
昭和 34 年 (1959)	小型動力ポンプ積載用として、三輪車 (マツダ 56CLY81 型) 1 台を購入し、上山口に配置する。 小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) B-3 級 1 台を購入し、一色に配置する。 小型動力ポンプ (トーハツ VE-3) C-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 長柄に詰所を新築する。(木造平屋建、34.65 m²)								
昭和 35 年 (1960)	消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 26 名、団員 156 名、計 198 名 <table> <tr> <td>消防ポンプ自動車</td><td>3 台</td></tr> <tr> <td>三輪消防ポンプ自動車</td><td>2 台</td></tr> <tr> <td>小型動力ポンプ</td><td>7 台</td></tr> <tr> <td>三輪積載車</td><td>1 台</td></tr> </table>	消防ポンプ自動車	3 台	三輪消防ポンプ自動車	2 台	小型動力ポンプ	7 台	三輪積載車	1 台
消防ポンプ自動車	3 台								
三輪消防ポンプ自動車	2 台								
小型動力ポンプ	7 台								
三輪積載車	1 台								
昭和 36 年 (1961)	下山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 52.69 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。								

昭和 37 年 (1962)	一色に配置の消防ポンプ自動車 (37 年式ダッジ) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-S) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、長柄に配置する。 木古庭、長柄に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50) を廃棄する。
昭和 38 年 (1963)	第 4 代消防団長 森谷米吉 就任 小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 下山口にサイレンを設置する。 木古庭に配置の 38 年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。
昭和 39 年 (1964)	葉山町役場に火災報知専用電話 (119 番) を設置する。 上山口に配置の三輪積載車 (マツダ 56CLY81 型) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-M) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 一色に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 87.81 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-50) を廃棄する。
昭和 40 年 (1965)	第 5 代消防団長 萩原宏之助 就任 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年式ニッサン R2B 型) を廃車する。
昭和 41 年 (1966)	上山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 91.92 m²) 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 堀内に詰所を新築する。(鉄筋コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 107.52 m²)
昭和 42 年 (1967)	木古庭に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 m²) 長柄の詰所を増築する。(木造平屋建、68.57 m²) 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 消防職員 実員 1 名

昭和 43 年 (1968)	葉山町消防本部発足。(3 月 29 日、葉山町一色 2155 番地) 初代消防長 細谷辰三郎 就任 神奈川県衛生部より救急自動車(トヨタダイナ 43RK-171V 改) 1 台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。 小型動力ポンプ(ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40E) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FC70 型)を廃車する。 消防職員 実員 12 名
昭和 44 年 (1969)	小型動力ポンプ(ラビット P403-M) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、一色に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402-S)を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VF-48)を廃棄する。 消防本部に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306)と、一色に配置の小型動力ポンプ(ラビット P403-M)を配置替える。 防火水槽(40 m³ 下山口、長柄) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車(トヨタ FJ-55) A-2 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防職員 実員 15 名
昭和 45 年 (1970)	指令車(ニッサンプリンスグロリア HA-30) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防無線を設置する。 基地局 1 基 10W、移動局 3 基 10W、携帯 2 基 1W 葉山町消防庁舎落成(4 月 1 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート 3 階建、延べ面積 521.972 m²) 防火水槽(40 m³ 木古庭、堀内) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車 1 台 救急自動車 1 台 指令車 1 台 小型動力ポンプ 1 台 消防職員 実員 19 名
昭和 46 年 (1971)	葉山御用邸焼失(1 月 27 日) 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ TXG10) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 2 基 10W 広報車(トヨタマーク II RT77) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 防火水槽(40 m³ 上山口) 1 基を設置する。

昭和 47 年 (1972)	救急自動車（トヨタ RH18V）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 防火水槽（40 m³ 一色）1 基を設置する。 消防職員 実員 22 名
昭和 48 年 (1973)	防火水槽（40 m³ 上山口）1 基を設置する。 小型動力ポンプ（ラビット P306）C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VE-3）を廃棄する。
昭和 49 年 (1974)	消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン JR-FRB）を廃車する。 消防職員 実員 27 名
昭和 50 年 (1975)	小型動力ポンプ（ラビット P306）C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-S）を廃棄する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）A-2 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（62 年式プリンススーパーマイラー）を廃車する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306、ラビット P402-S）を廃棄する。 消防無線機増設。携帯 2 基 1W 消防職員 実員 28 名
昭和 51 年 (1976)	日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車（ニッサン HF-20 改）1 台と小型動力ポンプ（ラビット P502-S）B-2 級 1 台の寄贈を受け、一色に配置する。
昭和 52 年 (1977)	第 6 代消防団長 永津義次 就任 堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。 小型動力ポンプ積載車（スズキキャリー H-L50 改）2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を堀内に配置替える。 堀内に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-M）を廃棄する。 日本消防協会より広報車（三菱ギャラン H-A112V 改）1 台の寄贈を受け、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車（トヨタマーク II RT77）を廃車する。 指令車（トヨタマーク II E-MX40）1 台を購入し、消防本部に配置する。

	消防本部に配置の指令車（ニッサンプリンスグロリア HA-30）を廃車する。 積載車（ダイハツ S60PD）1 台を購入し、消防署に配置する。 固定局を設置する。1 基 10W 無線式サイレン吹鳴装置を設置する。 消防職員 実員 33 名
昭和 53 年 (1978)	消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40）を廃車する。 消防無線機増設。携帯 1 基 1W 救急自動車（トヨタ RH42VB-J）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタダイナ RK-171V）を廃車する。 防火水槽（40 m³ 堀内）1 基を設置する。 消防職員 実員 34 名
昭和 54 年 (1979)	消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40）を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）80 基を堀内、一色に設置する。
昭和 55 年 (1980)	第 2 代消防長 尾崎 昇 就任 消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD- I 型）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（トヨタ FJ-55）を廃車する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）70 基を堀内、一色、下山口に設置する。 防火水槽（40 m³ 上山口、下山口、堀内）3 基を設置する。
昭和 56 年 (1981)	水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ TXG10）を廃車する。 防火水槽（40 m³ 堀内）1 基を設置する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）80 基を堀内に設置する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-M）を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ V15A）C-1 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。

昭和 57 年 (1982)	消防ポンプ自動車（トヨタ FJ60V 改 BD-I 型）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40）を廃車する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）83 基を一色、堀内、長柄に設置する。 消防無線機増設。基地局 1 基 10W 予備機、携帯 1 基 5W
昭和 58 年 (1983)	救急自動車（トヨタ L-YH71VB）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ RH18V）を廃車する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-M）を廃棄する。 広報車（ニッサンブルーバード L-VJ910 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防本部に配置の広報車（三菱ギャラン H-A112V 改）を廃車する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）81 基を一色、堀内に設置する。
昭和 59 年 (1984)	街頭消火器（20 型 ABC 粉末）208 基を木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄に設置する。
昭和 60 年 (1985)	第 3 代消防長 小峰和夫 就任 第 4 代消防長 鈴木寶三郎 就任 軽トラック（ダイハツ M-S664WD）1 台を購入し、消防本部に配置する。 指令車（ニッサンブルーバード E-U11 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車（トヨタマーク II E-MX40）を廃車する。 積載車（三菱 M-U11V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（ダイハツ S60PD）を廃車する。
昭和 61 年 (1986)	第 7 代消防団長 石川清治 就任 救急自動車（トヨタ L-YH71VB）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ RH42VB-J）を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 長柄に詰所を新築する。（鉄骨平屋建、93.61 m²）
昭和 62 年 (1987)	小型動力ポンプ（富士ロビン P303BS）C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 消防救急指令装置（富士通ゼネラル HA-305）、無線統制台（富士

	通ゼネラル RC-6033) を導入し、運用開始する。 葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員 実員 38 名
昭和 63 年 (1988)	第 8 代消防団長 矢島正治 就任 小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改 BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) を廃車する。
平成元年 (1989)	広報車 (スバルレガシィ E-BF3 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C-1 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級を廃棄する。 小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S80P 改) 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン T-FGY60 改) A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級を廃車する。 防火水槽改修を行う。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W
平成 2 年 (1990)	消防団車両 9 台に消防無線受令機を設置する。 救急自動車 (トヨタ U-LH129S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 1 基 5W 小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車 (スズキキャリー H-L50 改) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン T-FGY60 改) A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (三菱 U-FG337C 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

平成 3 年 (1991)	消防署に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD- I 型）を廃車する。 木古庭の詰所を移転新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 177. 493 m²） 第 37 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名 第 5 代消防長 大竹二郎 就任 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S83P 改）1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞU-FRR32DBV 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルK-CM85C 改）を廃車する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名
平成 4 年 (1992)	機構改革により消防本部に防災係を設置する。 防災車（トヨタ L-KE72V）1 台を消防本部に配置する。 第 38 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 消防職員 定員 43 名 実員 43 名
平成 5 年 (1993)	第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 18 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 積載車（三菱 V-U42V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（三菱 M-U11V 改）を廃車する。 「甲部隊」「乙部隊」を「第 1 警備隊」「第 2 警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）を廃車する。 本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基（5W3 基、1W12 基） 消防職員 定員 43 名 実員 43 名
平成 6 年 (1994)	防災車（トヨタ U-LH119V 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車（トヨタ L-KE72V）を廃車する。 葉山町防災行政無線増設。携帯 2 基 5W 第 11 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出）

平成 7 年 (1995)	第 19 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 39 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防無線更新。携帯 3 基 5W 高規格救急自動車 (トヨタ Z-UZH132S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60) 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60) を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名 第 6 代消防長 高木太郎 就任 消防庁舎新築工事着工 兵庫県南部地震 (阪神淡路大震災) 発生に伴い 4 名を派遣する。 (第 1 次派遣隊、第 2 次派遣隊共に兵庫県兵庫消防署へ派遣) 第 12 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 20 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改) を廃車する。 教材用として葉山小学校へ寄贈する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 8 年 (1996)	新葉山町消防庁舎落成 (11 月 24 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上 3 階地下 1 階、救助訓練施設併設、延べ面積 2,558.77 m²) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル H-315) を整備し、運用を開始する。 無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 旧消防庁舎を解体する。 小型動力ポンプ (ラビット P380LM) C-1 級 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級を廃棄する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15AS) C-1 級を廃棄する。 小型動力ポンプ (ラビット P475S-DX・V) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 軽トラック (スバル V-KS4 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

平成 9 年 (1997)	消防本部に配置の軽トラック（ダイハツ M-S664WD）を廃車する。 第 13 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 21 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 40 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 日本損害保険協会より救助工作車（ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改）1 台の寄贈を受け、消防署に配置する。 広報車（三菱 E-CD5W 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車（ニッサンブルーバード E-U11 改）を廃車する。 消防本部に配置の広報車（スバルレガシー E-BF3 改）を廃車する。 第 14 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 22 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 2 基 5W 消防無線全国波を導入する。 下山口の詰所を移転新築する。（鉄骨 1 階建、85.05 m²） 下山口に防火水槽（40 m³）1 基、一色に防火水槽（20 m³）1 基を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 10 年 (1998)	第 7 代消防長 本田恒雄 就任 葉山町女性防火防災クラブ発足 78 名 第 15 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 23 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 41 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ L-YH71VB）を廃車する。 小型動力ポンプ（富士ロビン P380）C-1 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級を廃棄する。 防火水槽（40 m³：下山口、一色 20 m³：一色 2 基、堀内、長柄）6 基を設置する。 葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。 消防本部 1 課（消防総務課）、消防署 2 課（警備第 1 課、警備第 2 課）に改める。 小型動力ポンプ（ラビット P265M 型）D-1 級 1 台を購入し、下山

平成 11 年 (1999)	口に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 下山口に配置の小型動力ポンプ（富士ロビン P303BS）C-1 級を廃棄する。 第 16 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 24 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 上山口の詰所を新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²） 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 12 年 (2000)	第 17 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ロープブリッジ渡過） 第 25 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 42 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 高規格救急自動車（トヨタ GE-VCH32S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 13 年 (2001)	第 8 代消防長 行谷正道 就任 消防署に配置の救急自動車（トヨタ U-LH129S）を廃車する。 一色の詰所を移転新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²） 第 18 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 26 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 消防ポンプ自動車（日野 KK-XZU371M 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（三菱 U-FG337C 改）を廃車する。 湘南国際村内消火栓 8 基（上山口 5 基、下山口 3 基）葉山町に帰属する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 14 年 (2002)	第 9 代消防団長 伊東正悦 就任 第 19 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ロープブリッジ救出） 第 27 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ロープブリッジ救出） 第 43 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 15 年 (2003)	第 10 代消防団長 石井建一 就任 堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 113.96 m²) 第 20 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ U-FRR32DBV 改)を廃車する。 消防ポンプ自動車(三菱 KK-FE73ECY) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FGY60 改 BD-I 型)を廃車する。 防災資機材搬送車(ニッサン LC-VPE25) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車(トヨタ U-LH119V 改)を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 16 年 (2004)	第 9 代消防長 石屋 博 就任 葉山町消防団 OB 会発足。 第 21 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 29 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 第 44 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 高規格救急自動車(ニッサン TC-FPGE50 改) 1 台購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の高規格救急自動車(トヨタ Z-UZH132S)をパラオ共和国に贈与する。 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車(いすゞ U-FRR32DBV 改)を廃車する。 2 交替勤務から 3 交替勤務に移行する。(10 月 1 日) 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 17 年 (2005)	第 22 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 30 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 消防ポンプ自動車(日野 PD-XZU304E 改) A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン T-FGY60 改)を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 18 年 (2006)	第 23 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 31 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん第 2 位入賞) 第 45 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 19 年 (2007)	第 10 代消防長 坂本光俊 就任 積載車 (ニッサン GBD-U72TP) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (三菱 V-U42V 改) を廃車する。 第 24 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 32 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) (出場種目 基本泳法 第 36 回消防救助技術関東地区指導会選出) 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 20 年 (2008)	第 25 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 33 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 第 37 回消防救助技術関東地区指導会に出場する。 (出場種目 基本泳法) 第 46 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防ポンプ自動車 (日野 BDG-XZU304E) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) を廃車する。 小型動力ポンプ積載車 (スバル EBD-TT2) 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S80P 改) を廃車する。 下山口に防火水槽 (40 m³) を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 21 年 (2009)	第 11 代消防長 有馬 弘 就任 第 11 代消防団長 石井定裕 就任 第 26 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 34 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル HA-3000D) を整備し、運用を開始する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署

平成 22 年 (2010)	に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ GE-VCH32S）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 第 27 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 35 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 47 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防無線更新。携帯 2 基 5W 水難救助艇（アキレス SG-140）1 艘を購入し、消防署に配置する。 日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車（ダイハツ EBD-S331W）1 台の寄贈を受け、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 23 年 (2011)	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生に伴い、緊急消防援助隊として消火隊 2 隊を派遣する。（第 1 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区岡田地区、第 2 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区蒲生地区へ派遣） 機動車（ニッサン DBA-NT31）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の広報車（三菱 E-CD5W 改）を廃車する。 機構改革により総務部総務課に防災係を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 24 年 (2012)	第 29 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 37 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 48 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 （ポンプ車操法の部 第 3 位優秀賞） 救助工作車（日野 SDG-GX7JGAA 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救助工作車（ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改）を廃車する。

平成 25 年 (2013)	消防職員 定員 47 名 実員 47 名 第 12 代消防長 小山正彦 就任 第 12 代消防団長 沼田慎一 就任 第 13 代消防長 高梨 勝 就任 第 30 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 第 38 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 資機材搬送車 (いすゞ TDG-NMS85AN) 1 台を購入し、消防署に配置する。 総務省消防庁より小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ EBD-S331W) 1 台の無償貸与を受け、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 26 年 (2014)	第 31 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 39 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 49 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車 (ニッサン TC-FPGE50 改) を廃車する。 横須賀市・三浦市・葉山町、2 市 1 町による消防通信指令事務の共同運用に向けた「横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会」設置。(横須賀市・三浦市消防指令センターは平成 25 年 4 月より運用開始。) 消防職員 定員 48 名 実員 48 名
平成 27 年 (2015)	横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター運用開始。 消防救急デジタル無線 (活動波・統制波・主運用波) 運用開始。 予防係を予防課へ変更する。 第 32 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 40 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) C A F S 付消防ポンプ自動車 (モリタ TKG-XZU640M) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車 (日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級を廃車する。

	一色に消火栓 1 基、長柄に消火栓 1 基、堀内に防火水槽 (40 m³) 1 基を設置する。 小型動力ポンプ (トーハツ VF-21BS 型) C-1 級 3 台を購入し、木古庭、一色、長柄に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P380) C-1 級を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C-1 級を廃棄する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級を廃棄する。 消防職員 定員 49 名 実員 49 名
平成 28 年 (2016)	第 14 代消防長 福本昌己 就任 第 33 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん) 第 41 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 50 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 下山口に消火栓 2 基、長柄に消火栓 2 基を設置する。 小型動力ポンプ (トーハツ VF-21BS 型) C-1 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P475S-DX・V) B-3 級を廃棄する。 資機材搬送車 (ニッサン EBD-DR16T) 1 台を購入し、下山口に配置する。 消防職員 定員 52 名 実員 49 名
平成 29 年 (2017)	長柄の詰所を移転新築する。(鉄骨 1 階建、延べ面積 122.42 m²) 第 34 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出) 第 42 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、ほふく救出) 資機材搬送車 (ニッサン EBD-DR16T) 1 台を購入し、木古庭に配置する。 消防職員 定員 52 名 実員 54 名
平成 30 年 (2018)	第 15 代消防長 小峰 守 就任 第 35 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出) 第 43 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん)

	ん、ほふく救出) 第 51 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 木古庭に消火栓 1 基、上山口に消火栓 1 基、一色に消火栓 1 基を設置する。 高規格救急自動車（ニッサン CBF-CS8E26 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を予備車とする。 資機材搬送車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、長柄に配置する。 消防職員 定員 55 名 実員 55 名
令和元年 (2019)	第 13 代消防団長 石井栄蔵 就任 第 36 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん) 第 44 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん) 総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車(トヨタ LDF-KDY231 改)1 台の無償貸与を受け、一色に配置する。 消防職員 定員 55 名 実員 54 名
令和 2 年 (2020)	木古庭に消火栓 1 基を設置する。 消防職員 定員 55 名 実員 54 名
令和 3 年 (2021)	第 14 代消防団長 佐藤 孝 就任 下山口に消火栓 1 基を設置する。 消防ポンプ自動車（モリタ 2KG-XZU685M）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防ポンプ自動車（日野 KK-XZU371M 改）A-2 級 1 台を廃車する。 一色に配置していた消防ポンプ自動車（三菱 KK-FE73ECY）A-2 級 1 台を廃車する。（コロンビア共和国へ寄贈） 静岡県熱海市の土石流災害発生に伴い、緊急消防援助隊を派遣する。（第 3 次派遣 消火隊 1 隊、第 4 次派遣 消火隊 1 隊） 消防職員 定員 55 名 実員 54 名
令和 4 年 (2022)	第 16 代消防長 伊藤義紀 就任 第 47 回神奈川県消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、基本泳法) 第 54 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場し、ポンプ車の部で 2 番員及び 4 番員が最優秀賞（個人）を受賞する。 総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車(トヨタ 3BF-TRY230)1 台の無償貸与を受け、木古庭に配置する。

	高規格救急自動車（ニッサン 3BF-CS8E26 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を予備車とする。（上記のニッサン 3BF-CS8E26 改と入替え） 消防署に配置の予備高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を廃車する。（上記の予備高規格救急自動車と入替え） 葉山国際カンツリー倶楽部より寄贈されたゴルフカートを艀装し、ミニ消防車を作成する。 ビッグレスキューかながわ（神奈川県・葉山町合同総合防災訓練）を南郷上ノ山公園、葉山港及び南郷中学校にて実施する。（10 月 16 日） 消防職員 定員 55 名 実員 54 名
令和 5 年 (2023)	第 48 回神奈川県消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ほふく救出） 救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車（トヨタ 3BF-TRY230）1 台を購入し、上山口に配置する。 消防緊急通信指令装置Ⅲ型を更新整備し、運用を開始する。 （NEC 製 横須賀市・葉山町消防指令センター） 消防職員 定員 55 名 実員 53 名
令和 6 年 (2024)	第 49 回神奈川県消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん第 2 位入賞、ロープブリッジ渡過、ロープブリッジ救出、ほふく救出） 第 55 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場し、ポンプ車の部で指揮者が最優秀賞（個人）を受賞する。 指揮車（ニッサン 3BF-VR2E26）1 台を購入し、消防署に配置する。 機動積載車（スズキ 3BD-DA16T）1 台を購入し、消防署に配置する。 水難救助艇（アキレス FRB-104）1 艘を購入し、消防署に配置する。 救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車（トヨタ 3BF-TRY230）1 台を購入し、上山口に配置する。 消防署に配置していた指揮車（ニッサン LC-VPE25 改）1 台を廃車する。（ウガンダ共和国へ寄贈） 消防署に配置していた機動積載車（ニッサン GBD-U72TP）1 台を廃車する。 消防署に配置していた水難救助艇（アキレス SG-140）1 艘を廃船する。 上山口に配置していた消防ポンプ自動車（日野 PD-XZU304E 改）A-2 級 1 台を廃車する。（ウガンダ共和国へ寄贈） 能登半島地震の発生に伴い、緊急消防援助隊を派遣する。（第 1 次派遣 消火隊 1 隊、後方支援隊 1 隊、第 3 次派遣隊 消火隊 1 隊、後方支援隊 1 隊、第 4 次派遣 消火隊 1 隊、後方支援隊 1 隊、第 5 次派遣 後方支援隊 1 隊） 消防職員 定数 55 名 実員 55 名

町

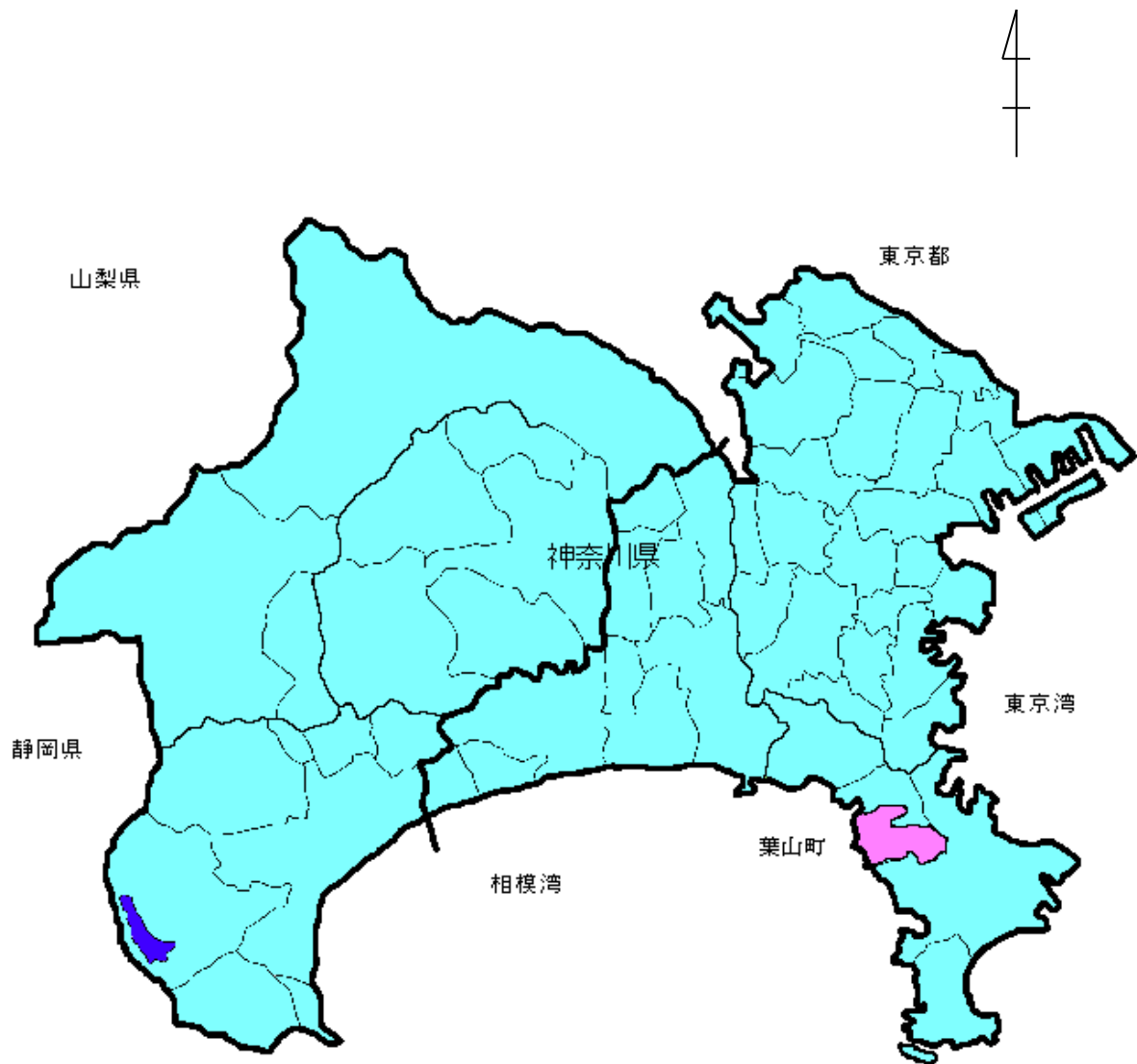
勢



葉山港

位 置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50 k m 圏にある。



葉山町役場の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地
位 置 北緯 35° 16′ 08″ 東経 139° 35′ 24″
町 制 施 行 大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

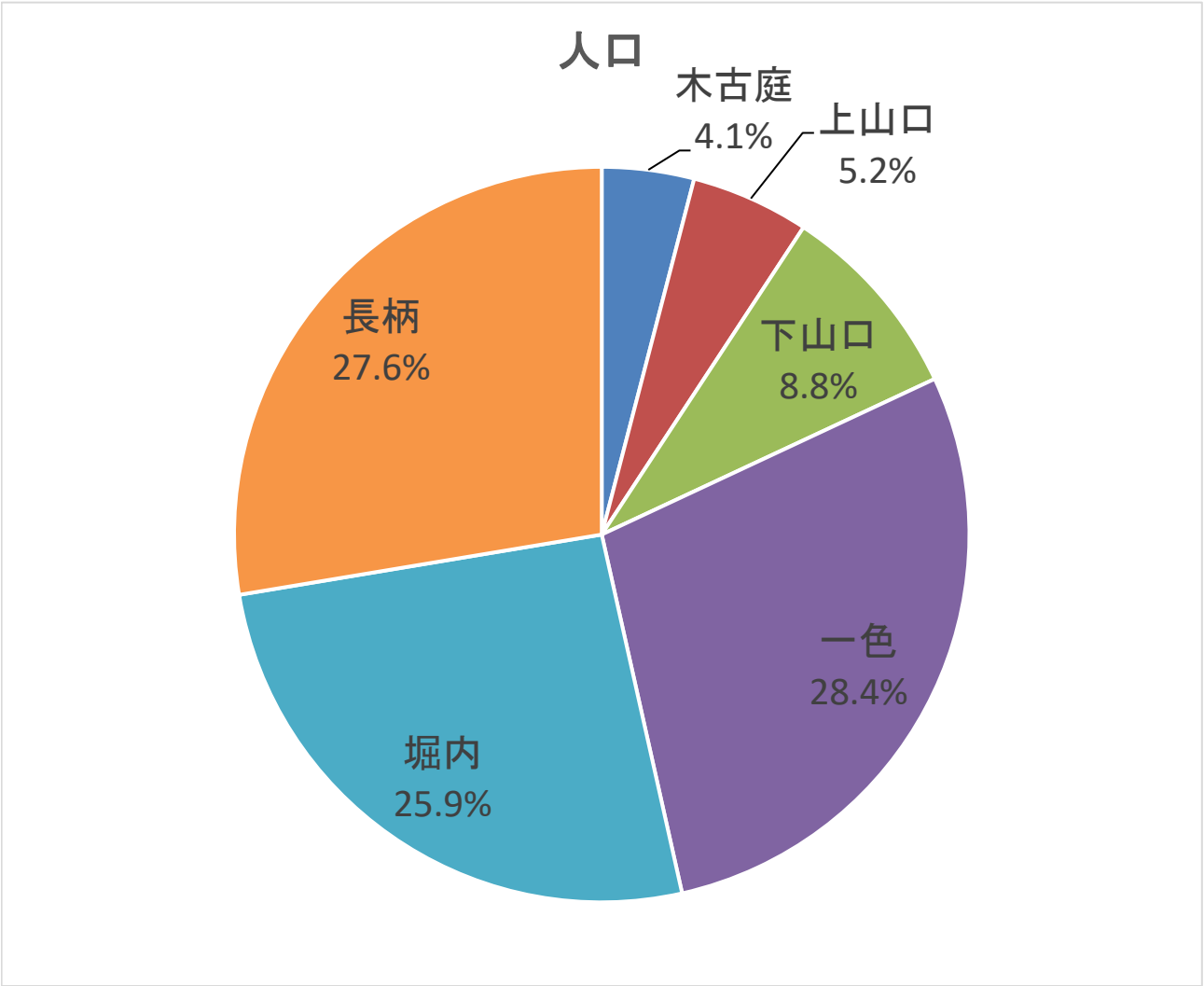
令和 7 . 4 . 1 現在

面積	人口			世帯数
17.04 k m ²	31,693人	男	14,956人	14,570世帯
		女	16,737人	

地区別情勢

令和 7 . 4 . 1 現在

区分 地区	人口			世帯数
	男	女	合計	(世帯)
	(人)	(人)	(人)	
木古庭	619	664	1,283	632
上山口	800	849	1,649	815
下山口	1,346	1,440	2,786	1,260
一色	4,227	4,789	9,016	4,075
堀内	3,838	4,367	8,205	3,844
長柄	4,126	4,628	8,754	3,944
合計	14,956	16,737	31,693	14,570

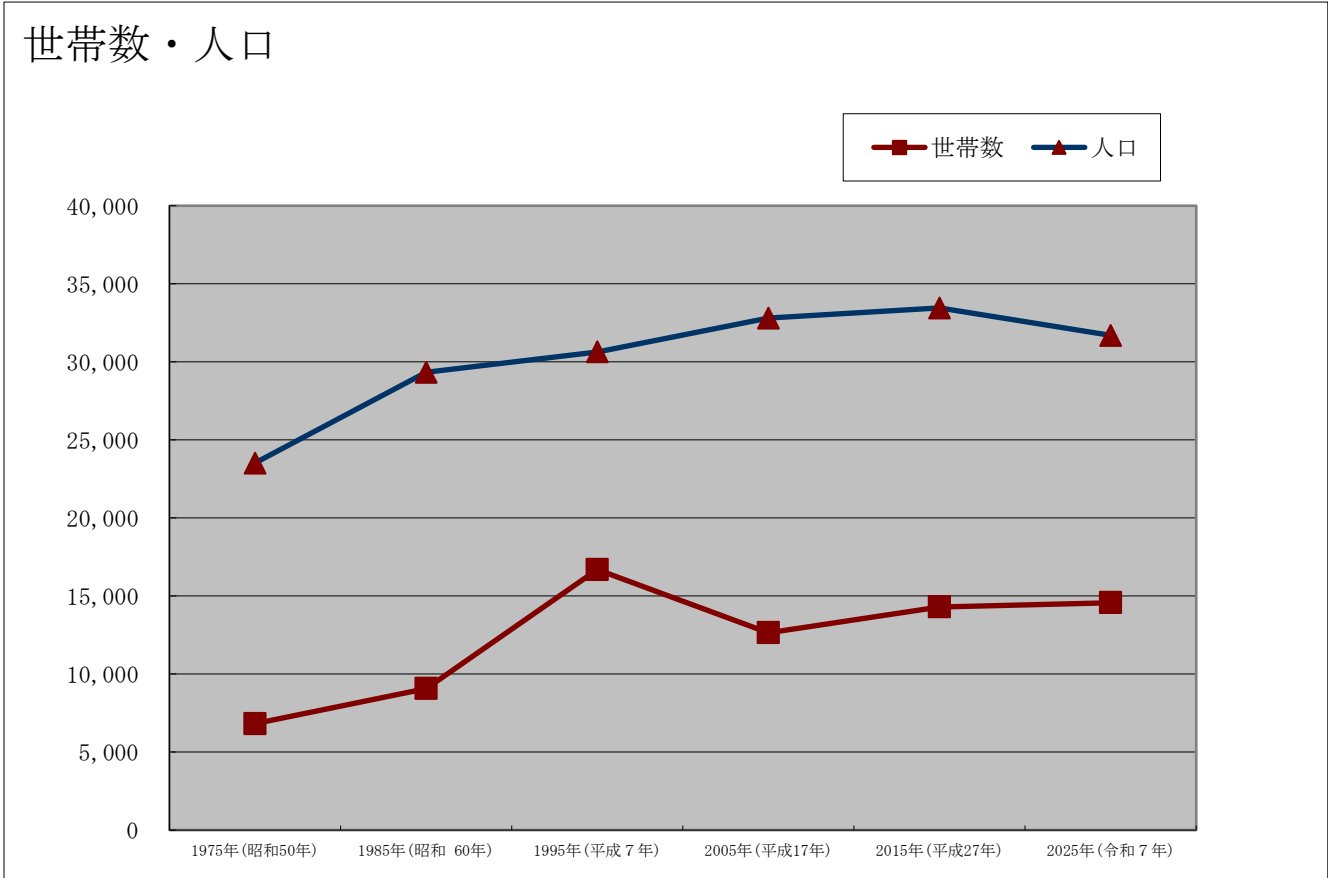


人口の推移

令和 7 . 4 . 1 現在

区分 年	世帯数 (世帯)	人口			1 k m ² あたり	
		男 (人)	女 (人)	合計 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)
1975 年 (昭 和 50 年)	6,821	11,413	12,107	23,520	400	1,380
1985 年 (昭 和 60 年)	9,066	14,199	15,125	29,324	532	1,721
1995 年 (平 成 7 年)	16,688	14,688	15,947	30,635	979	1,798
2005 年 (平 成 17 年)	12,647	15,619	17,182	32,801	742	1,925
2015 年 (平 成 27 年)	14,299	15,836	17,619	33,455	839	1,963
2025 年 (令 和 7 年)	14,570	14,956	16,737	31,693	855	1,860

世帯数・人口



消 防 情 勢



葉山町消防本部庁舎

消防本部・署・団設置

消防本部設置 昭和 43 年 3 月 29 日

消防署設置 昭和 45 年 4 月 1 日

消防団設置 昭和 22 年 7 月 19 日

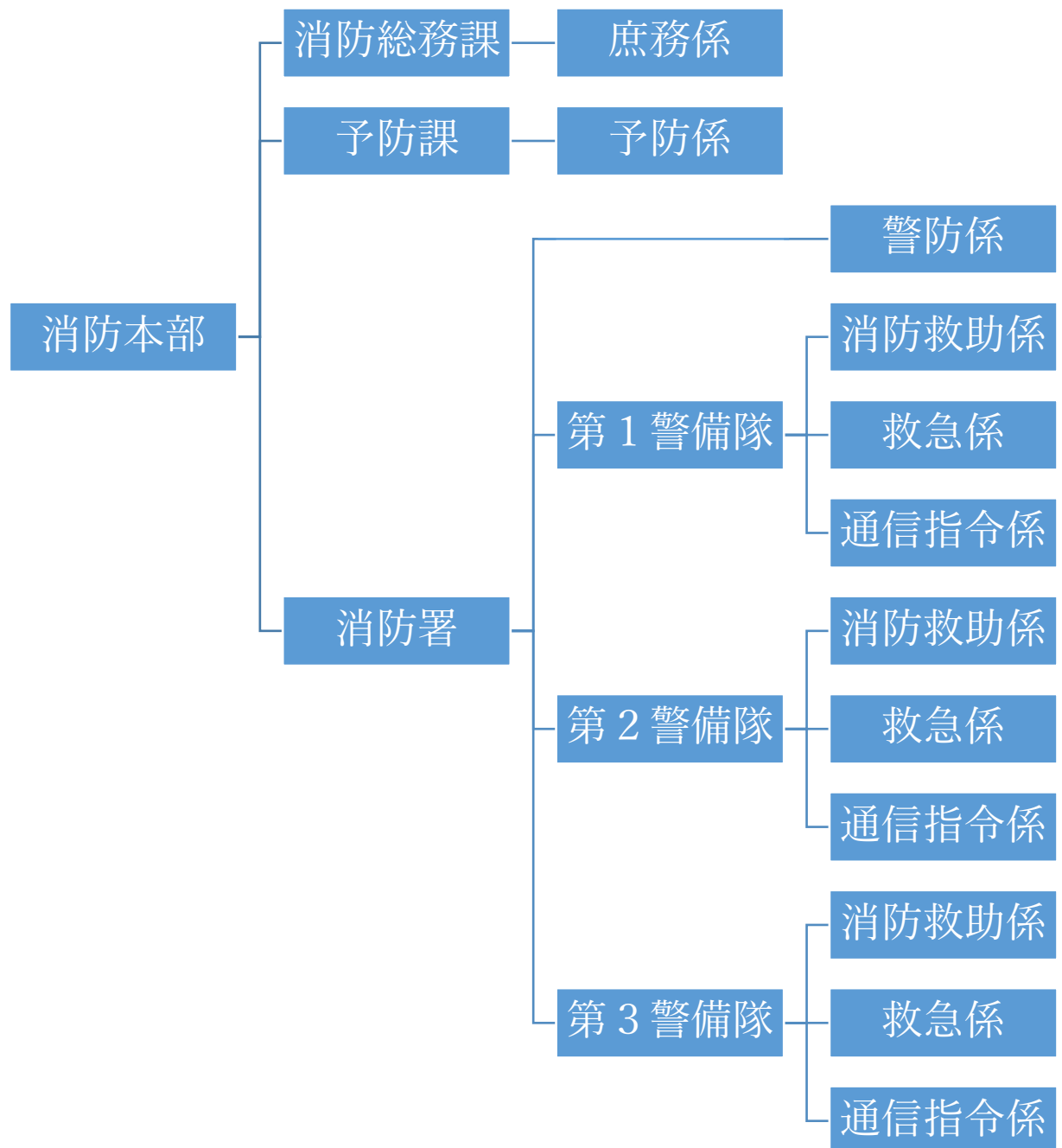
消防本部・消防署の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10

位 置 北緯 35° 27′ 12″ 東経 139° 58′ 50″

消防団本部の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10

位 置 北緯 35° 27′ 12″ 東経 139° 58′ 50″

消防本部・署機構図



消防本部事務分掌

消防総務課

庶 務 係

- (1) 消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
- (2) 消防組織に関すること。
- (3) 条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
- (4) 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (7) 公印の管理に関すること。
- (8) 消防長の儀礼交際に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 公務災害補償等に関すること。
- (11) 消防出初式に関すること。
- (12) 消防の総括統計に関すること。
- (13) 消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
- (14) 消防団本部の庶務に関すること。
- (15) 消防団員の訓練の企画及び調整に関すること。
- (16) 消防予算の執行管理の総括に関すること。
- (17) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (18) 被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (19) 消防署との連絡調整に関すること。
- (20) 消防長の庶務及び部内の連絡調整に関すること。
- (21) 指令業務の共同運用に関すること。

予防課

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及及び調整に関すること。
- (2) 火災予防等の規定及び調整に関すること。
- (3) 建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
- (4) 防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
- (5) 防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
- (6) 火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
- (7) 葉山町火災予防条例に基づく届出及び指導（警防係で扱うものを除く。）に関する
こと。
- (8) 危険物施設の検査及び指導に関すること。
- (9) 液化石油ガス等に関すること。
- (10) 危険物取扱者に関すること。
- (11) 危険物施設の許認可に関すること。

- (12) 火災予防の総括（警防係で扱うものを除く。）に関すること。
- (13) 開発行為等の指導（警防係で扱うものを除く。）に関すること。
- (14) 火災の原因及び損害の調査（消防救助係で扱うものを除く。）に関すること。

消防署事務分掌

警 防 係

- (1) 火災に係るり災証明に関すること。
- (2) 搬送証明に関すること。
- (3) 各種催事に係る警備の企画及び調整に関すること。
- (4) 消防救助活動及び救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (5) 屋外の火災予防の総括に関すること。
- (6) 葉山町火災予防条例に基づく届出（予防係で扱うものを除く。）に関すること。
- (7) 開発行為の指導（予防係で扱うものを除く。）に関すること。
- (8) 消防地理及び消防水利の総括に関すること。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (10) 消防力整備計画に関すること。
- (11) 消防対象物の警防計画に関すること。
- (12) 消防警防計画に関すること。
- (13) 消防相互応援協定等に関すること。
- (14) 緊急消防援助隊に関すること。
- (15) 消防車両の通行制限等の許認可申請に関すること。
- (16) 消防現勢及び消防年報に関すること。
- (17) 消防の総括統計に関すること。
- (18) 関係機関等合同訓練の企画及び調整に関すること。
- (19) 消防計画書に関すること。

消防救助係

- (1) 消防活動及び調査に関すること。
- (2) 救助活動に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (4) 屋外の火災予防の踏査及び指導に関すること。
- (5) 消防地理及び消防水利の踏査に関すること。
- (6) 各種催事に係る警備の実施に関すること。
- (7) 消防救助活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (8) 消防団員、事業所等の消防訓練指導等に関すること。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (10) 消防本部との調整に関すること。
- (11) 街頭消火器の整備及び維持管理に関すること。
- (12) 救急活動の支援に関すること。

救 急 係

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 応急手当の啓発活動に関すること。
- (3) 救急活動に係る訓練の運用に関すること。
- (4) 救急車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (5) 応急手当の普及の総合調整に関すること。
- (6) 救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (7) 救急関連機関との調整に関すること。
- (8) 救急車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (9) 救急統計に関すること。

通信指令係

- (1) 消防に係る気象観測に関すること。
- (2) 災害通報の受信及び指令に関すること。
- (3) 災害活動機関との連絡及び情報収集に関すること。
- (4) 警防支援情報等の収集、管理及び保護に関すること。
- (5) 消防通信施設の保守管理に関すること。
- (6) 消防通信の技術指導及び訓練に関すること。
- (7) 災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
- (8) 火災警報等に関すること。

消防本部・署・団情勢調

人口 31,693 人

世帯数 14,570 世帯

面積 17.04 Km²

令和7.4.1現在

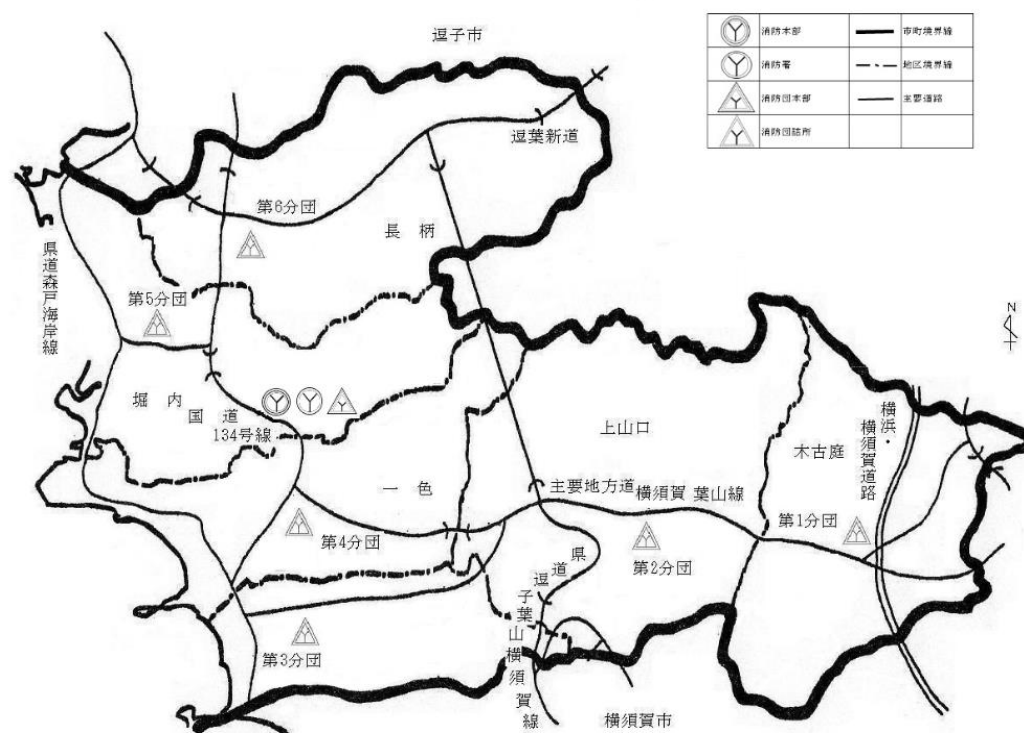
種別 区分	消 防 本 部 ・ 署						消 防 団					
	消 防 吏 員			消 防 ポンプ自動車			消 防 団 員			消 防 ポンプ自動車		
現 況	54人			2 台			176人			6 台		
細 別	消防吏員1人あたり			消防車1台あたり			消防団員1人あたり			消防車1台あたり		
区 分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
平 均 値	0.3	587	270	8.5	15,847	7,285	0.1	180	83	2.8	5,282	2,428

消防本部・署・団車両等

令和7.4.1現在

種別 車両	消 防 本 部 ・ 署	消 防 団	合 計
指 揮 車	1 台		1 台
消 防 ポンプ自動車	2 台	6 台	8 台
救 助 工 作 車	1 台		1 台
機 動 積 載 車	1 台		1 台
小型動力ポンプ付積載車		3 台	3 台
小 型 動 力 ポンプ	1 台	3 台	4 台
高規格救急自動車	3 台		3 台
機 動 車	1 台		1 台
資 材 搬 送 車	2 台	3 台	5 台
二 輪 車	2 台		2 台

消防本部・団本部署所配置図



庶務関係



神奈川県消防学校初任教育入校式

消防予算額

令和 7 年度

款	項	目	金額（千円）	比率（％）
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	557,223	70.6%
		非 常 備 消 防 費	68,166	8.7%
		消 防 施 設 費	163,421	20.7%
		合 計	788,810	100%

町予算と消防予算の比

（単位：千円）

区分 \ 年度			
	令 和 7 年 度	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度
町 総 予 算 額	13,283,000	12,808,095	11,647,000
消 防 予 算 額	788,810	678,207	718,881
比 率 （ ％ ）	5.9	5.3	6.2

消防費と人口・世帯の比

人 口 31,693人

世帯数 14,570世帯

令和 7 年度

予算額（千円）		1 世帯あたり（円）	人口 1 人あたり（円）
消 防 費 予 算	788,810	54,139	24,889
常 備 消 防 費	557,223	38,245	17,582
非 常 備 消 防 費	68,166	4,679	2,151
消 防 施 設 費	163,421	11,216	5,156
町 総 予 算	13,283,000	911,668	419,115

消防職員定員・実員

令和7.4.1現在

階級 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
定員								55
実員	1	6	14	11	19	3	1	55
再任用者								

消防職員年齢

令和7.4.1現在

階級 年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
18～20								
21～25					4	3		7
26～30					9			9
31～35				3	6			9
36～40			4	8				12
41～45			3				1	4
46～50								
51～55		2	7					9
56～60		4						4
61歳以上	1							1
合計	1	6	14	11	19	3	1	55
平均年齢	60	55	47	36	29	22	34	38

消防職員勤続年数

令和7.4.1現在

階級 勤続年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
1年未満								
1年以上5年未満					6	3		9
5年以上10年未満					10			10
10年以上15年未満				5	3			8
15年以上20年未満			4	6				10
20年以上25年未満			2				1	3
25年以上30年未満			1					1
30年以上35年未満		2	5					7
35年以上40年未満	1	4	2					7
40年以上								
合計	1	6	14	11	19	3	1	55

教育実施状況

令和6年度

教育種別	期間	人員	教育場所
初任教育（第220期）	R6/4/8 ～ R6/9/30	3	神奈川県消防学校
専科教育（救急科）	R6/10/23 ～ R6/12/20	2	神奈川県消防学校
専科教育（警防科）	R6/10/16 ～ R6/10/29	1	神奈川県消防学校
専科教育（救助科）	R6/10/15 ～ R6/11/12	1	神奈川県消防学校
専科教育（予防査察科）	R7/2/12 ～ R7/2/26	1	神奈川県消防学校
専科教育（火災調査科）	R7/1/20 ～ R7/1/31	1	神奈川県消防学校
幹部特別教育（研修教官）	R6/6/3 ～ R6/6/28	1	神奈川県消防学校
特別教育（操法指導員研修）	R6/4/25	3	神奈川県消防学校
特別教育（航空特別応援研修）	R7/3/11 ～ R7/3/14	1	神奈川県消防学校
特別教育（通信指令員研修）	R7/2/5 ～ R7/2/7	1	神奈川県消防学校
特別教育（女性活躍推進研修）	R7/2/25	1	神奈川県消防学校
特別教育（火災性状特別研修）	R7/2/3 ～ R7/2/5	2	神奈川県消防学校
指導救命士	R6/7/2 ～ R6/7/18	1	横浜市救急救命士養成所

特殊技能資格者

令和 7. 4. 1 現在

資格 \ 階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
自動車運転	大型			5	4	3			12
	中型		2	6	7	4			19
	中型（8 t 限定）	1	4	3					8
	準中型（5 t 限定）					6		1	7
	普通					6	3		9
危険物	乙種 4 類		2	14	11	17	3		47
	丙種		2	3					5
予防技術者	防火査察			2	4	3			9
	消防用設備等			3	3				6
	危険物			2	2	3			7
消防設備 点検資格者	点検資格第 1 種			2	1				3
	点検資格第 2 種			4	1				5
可搬消防ポンプ等整備資格者				2	1				3
第 1、2、3 級陸上特殊無線技士			6	14	11	19	3		53
ガス溶接技能者			4	3		2			9
小型クレーン技能者			2	9	10	6			27
玉掛技能者			2	9	10	7			28
1 級小型船舶操縦士			1	1					2
2 級小型船舶操縦士			3	5	6	6			20
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者				3					3
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者				1	2				3
毒物劇物取扱責任者					1				1
応急手当指導員			6	14	11	19	3		53
救急救命士			3	6	4	4	2		19
アマチュア無線技士				2					2

警 防 関 係



能登半島地震に伴う緊急消防援助隊の派遣

火災概況

令和 6 年中

火 災 件 数		5 件	
火 災 種 別	建 物 火 災	1 件	(ぼや 1 件)
	林 野 火 災		
	車 両 火 災	1 件	
	船 舶 火 災		
	航 空 機 火 災		
	その他の火災	3 件	
焼 損 面 積		81.3㎡	
損 害 見 積 額		551千円	
罹 災 世 帯 数			
死 傷 者 数			

火災種別と発火源

令和 6 年中

区分 件数	火 災 種 別	発 火 源
1	その他の火災	その他の裸火
2	建物火災	自動開閉器
3	その他の火災	たき火
4	その他の火災	その他
5	車両火災	排気管

火災発生状況

令和6年中

区分 月	火災種別						死傷者		建物火災															林 野 焼 損 面 積	そ の 他 焼 損 面 積	損害見積額											
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	死 者	負 傷 者	焼損棟数								罹災世帯数		罹 災 人 員	焼損面積					全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	建物		車 両	そ の 他	合 計		
										火元棟				延焼数				全 損	半 損		小 損	全 焼	半 焼								部 分 焼	ぼ や				建 物	収 容 物
										全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																				
1																																					
2																																					
3																																					
4																																					
5																																					
6																																					
7						1	1																							24	24						
8	1					2	3						1														81.3		337			337					
9																																					
10																																					
11																																					
12			1				1																							190		190					
合計 (単位)	1 件		1 件			3 件	5 件						1 棟														81.3 ㎡		337 千円	190 千円	24 千円	551 千円					

																												出火率 (件)						
過去5年	令和元年	2		1			3	6	2		1			1				1		1	6	101				101		7.59	22,975	20,620	26	337	43,621	0.6
	令和2年	3		1				4		1			1	2						2				4		4			180	2	337		519	1.2
	令和3年	1					1	2			1										300				300			97,045	2,741		45	99,831	0.6	
	令和4年	3						3			1			2	1			2		1	1	81			81			707	3,001	427		4,135	1.0	
	令和5年	5		2			2	9		3	1			4			3	2	1		9	27	89.84		128	1	218.84		3.2	2,095	213	1,078	4	3,390

火災覚知方法時間別状況

令和6年中

時間	覚知		一一九番	加入電話	事後聞知	かけつけ	巡回中発見	その他	合計
0	～	1				1			1
1	～	2							
2	～	3							
3	～	4							
4	～	5							
5	～	6							
6	～	7							
7	～	8	1						1
8	～	9							
9	～	10	2						2
10	～	11							
11	～	12							
12	～	13							
13	～	14							
14	～	15							
15	～	16							
16	～	17							
17	～	18	1						1
18	～	19							
19	～	20							
20	～	21							
21	～	22							
22	～	23							
23	～	24							
合	計		4			1			5

地区別火災発生状況

令和6年中

地区 区分		単 位	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
出火件数		件	1	1		2	1		5
内訳	建物	件				1			1
	林野	件							
	車両	件	1						1
	船舶	件							
	航空機	件							
	その他	件		1		1	1		3
焼損棟数		棟				1			1
内訳	全焼	棟							
	半焼	棟							
	部分焼	棟							
	ぼや	棟				1			1
建物焼損面積		m ²							
林野焼損面積		m ²							
その他焼損面積		m ²		81.3					81.3
罹災世帯数		世帯							
内訳	全損	世帯							
	半損	世帯							
	小損	世帯							
罹災人員		人							
火災損害額		千円	190			337	24		551
内訳	建物	千円				337			337
	林野	千円							
	車両	千円	190						190
	船舶	千円							
	航空機	千円							
	その他	千円					24		24

時間別火災発生状況

令和6年中

区分 時間	建 物				合 計	建 以 外 の 火 災	建 面 物 焼 損 積 (㎡)	林 面 野 焼 損 積 (㎡)	そ 焼 損 の 面 他 積 (㎡)	損 見 積 害 額 (千円)
	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
0 ~ 1						1				24
1 ~ 2										
2 ~ 3										
3 ~ 4										
4 ~ 5										
5 ~ 6										
6 ~ 7										
7 ~ 8				1	1					337
8 ~ 9										
9 ~ 10						2				190
10 ~ 11										
11 ~ 12										
12 ~ 13										
13 ~ 14										
14 ~ 15										
15 ~ 16										
16 ~ 17										
17 ~ 18						1			81.3	
18 ~ 19										
19 ~ 20										
20 ~ 21										
21 ~ 22										
22 ~ 23										
23 ~ 24										
不 明										
合 計				1	1	4			81.3	551

消防署の消防車両等の出場状況

※火災及び救助出場にあっては、他市消防（局）本部、消防団の出場人員、車両を含みます。

令和6年中

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
出場														
火災	件数	1			1			1	3				1	7
	出場台数	6			8			3	12				12	41
	出場人員	16			28			8	35				37	124
救助	件数	3	1	2	3	2	1	6	4	1	4	3	1	31
	出場台数	15	3	7	9	5	4	18	16	3	12	9	3	104
	出場人員	44	7	18	21	13	10	42	47	8	30	22	9	271
危険排除	件数	1		4	1	4	1	1	4	3			1	20
	出場台数	3		10	2	9	2	3	11	6			2	48
	出場人員	7		26	5	20	4	7	26	15			5	115
偵察	件数	6	4	6	1	4	1	3	5	2	1		4	37
	出場台数	11	9	13	3	9	2	6	10	4	1		10	78
	出場人員	23	24	26	8	22	4	15	23	9	3		26	183
特別災害・その他	件数													
	出場台数													
	出場人員													
調査	件数	1					1	3	1	1	2	3	1	13
	出場台数	2					2	6	2	2	4	6	2	26
	出場人員	4					4	13	4	4	8	15	5	57
P A 連携	件数	19	15	20	18	13	15	14	21	12	9	17	17	190
	出場台数	38	31	37	35	24	29	26	40	23	18	35	32	368
	出場人員	95	78	90	86	62	72	69	99	57	46	88	77	919
合計	件数	31	20	32	24	23	19	28	38	19	16	23	25	298
	出場台数	75	43	67	57	47	39	62	91	38	35	50	61	665
	出場人員	189	109	160	148	117	94	154	234	93	87	125	159	1,669

令和6年中出場件数

					合計	
火 災 出 場	火 災 種 別		出場件数	火災件数	出場	火災
	建	物	3	1	7	5 (後聞火災含む)
	車	両	1	1		
	林	野				
	そ	の	3	3		
	他	火 災				

応援火災出場	火 災 種 別	出場件数	合 計

救 助 出 場	事 故 種 別	出場件数	活動件数	合 計	
				出場	活動
	火 災	2		31	19
	交 通 事 故	2	2		
	水 難 事 故	5	2		
	風水害等自然災害事故				
	機 械 に よ る 事 故				
	建 物 等 に よ る 事 故	12	7		
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故				
	破 裂 事 故				
そ の 他	10	8			

その他出場	その他分類				出場件数	合 計
	危険排除	危険物			12	20
		火気取扱				
		風害			2	
		水害				
		山崩れ			2	
		ガス				
		電気			1	
		その他（危険排除）			3	
	偵 察	怪煙			4	37
		焚火				
		異臭			2	
		自火報発報			16	
		緊急通報			3	
		その他（偵察）			12	
	特別災害	N 災害				
B C 災害						
その他	その他					

救急支援出場	出 場 種 別		出場件数	合 計
	特 定		82	190
	救 命		108	

調 査 出 場	調 査 種 別	出場件数	合 計
	火 災 (非火災)	1	13
	風 水 害 (調 査)	6	
	そ の 他 (調 査)	6	

消防署出場件数前年比較（令和５年中・令和６年中）

1 火災出場

種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	合 計
令和５年中	6	2		6	14
令和６年中	3	1		3	7
比 較	△ 3	△ 1		△ 3	△ 7

2 救助出場

種別 区分	火 災	交通事故	水難事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	機械による事故	そ の 他	合 計
令和５年中	3	6	5	8		1	5	28
令和６年中	2	2	5	12			10	31
比 較	△ 1	△ 4	0	4		△ 1	5	3

3 その他の出場

種別 区分	その他災害		救急支援		調査	合 計
	危険排除	偵 察	特定救急	救命救急		
令和５年中	20	44	59	131	7	261
令和６年中	20	37	82	108	13	260
比 較	0	△ 7	23	△ 23	6	△ 1

4 救急出場

種別 区分	急病	一般負傷	交通事故	移送	自損行為	加害	運動競技	労災事故	火災事故	自然災害	水難事故	医師搬送	資材搬送	その他	合計
令和５年中	1,249	386	93	78	15	2	6	21	6		6			8	1,870
令和６年中	1,352	365	83	57	16	1	6	13	5		5			11	1,914
比 較	103	△ 21	△ 10	△ 21	1	△ 1	0	△ 8	△ 1		△ 1			3	44

5 応援状況

(1) 火災救助等受援件数

市 区分	逗子市から葉山町			横須賀市から葉山町			横浜市から葉山町			川崎市から葉山町			合計
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	
令和５年中	1	1		1									3
令和６年中				1		2					1		4
比 較	△ 1	△ 1		0		2					1		1

(2) 火災救助等応援件数

市 区分	葉山町から逗子市			葉山町から横須賀市			合計
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	
令和５年中		3		3			6
令和６年中		1					1
比 較		△ 2		△ 3			△ 5

(3) 救急受援件数

市 区分	逗子市から葉山町	横須賀市から葉山町	合計
令和５年中	18	30	48
令和６年中	15	25	40
比 較	△ 3	△ 5	△ 8

(4) 救急応援件数

市 区分	葉山町から逗子市	葉山町から横須賀市	合計
令和５年中	17	1	18
令和６年中	10		10
比 較	△ 7	△ 1	△ 8

過去 5 年間の山中救助出場件数

発生年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
発生件数	3	5	4	4	4
うち ヘリ救助件数		1	1	1	1
日中件数	3	2	4	3	3
夜間件数		3		1	1
救助人員	3	5	8	6	5
救急搬送者数	2		2	1	2

年別所要時間別山中救助（覚知 ～ 救出完了）件数

発生年 所要時間	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
～ 30分					
30分 ～ 1 時間				1	1
1 時間 ～ 1 時間30分	1	1	2	1	1
1 時間30分 ～ 2 時間		3		1	
2 時間 ～ 2 時間30分	1	1			1
2 時間30分 ～ 3 時間			1	1	
3 時間 ～ 3 時間30分			1		1
3 時間30分 ～ 4 時間					
4 時間 ～ 4 時間30分	1				
4 時間30分 ～ 5 時間					
5 時間 ～ 5 時間30分					
5 時間30分 ～ 6 時間					
6 時間 ～ 6 時間30分					
6 時間30分 ～ 7 時間					
合 計	3	5	4	4	4

消防本部・署現有車両機械

令和 7. 4. 1 現在

用途	車両 会社名	登録 年月日	原動機ポンプ					無線 呼出名称
			エンジン 社名	気筒容積 (CC)	ポンプ 社名	ポンプ 型式	ポンプ 級別	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	平成27年 12月 7 日	日野	4,000	モリタ	1 段 ポリュート式	A-2	はやましき ぽんぷ 1
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	令和 3 年 12月17日	日野	4,000	モリタ	1 段 ポリュート式	A-2	はやま ぽんぷ 2
救 助 工 作 車	日野	平成25年 2 月 4 日	日野	6,400				はやま きゅうじょ 1
機 動 積 載 車	スズキ	令和 7 年 3 月11日	スズキ	650				はやま きどう 1
救 急 自 動 車	ニッサン	平成30年 12月18日	ニッサン	2,480				きゅう きゅう はやま 1
救 急 自 動 車	ニッサン	令和 5 年 2 月17日	ニッサン	2,480				きゅう きゅう はやま 2
非 常 用 救 急 自 動 車	トヨタ	平成26年 11月26日	トヨタ	2,690				
機 動 車	ニッサン	平成23年 6 月15日	ニッサン	1,990				はやま きどう 2
指 揮 車	ニッサン	令和 7 年 3 月11日	ニッサン	1,990				はやま しき 1
資 機 材 搬 送 車	いすゞ	平成25年 8 月21日	いすゞ	2,990				はやま しざい 1
資 材 車	ニッサン	平成26年 7 月30日	ニッサン	650				はやま しざい 2
二 輪 車	ホンダ	平成 5 年 9 月 9 日	ホンダ	90				
二 輪 車	ホンダ	平成 9 年 7 月28日	ホンダ	50				
小 型 動 力 ポ ン プ		平成28年 3 月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1	

警防用機器資材

令和 7. 4. 1 現在

用途	一般救助用								重量物排除用			
名 称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧救助器具 (スプレッダー)	救助用油圧ジャッキ
数量	3	4	2		1	10	2	3			1	2

用途	重量物排除用			切断用								
名 称	可搬式ウインチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具 (カッター)	エアソー	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断機	チェーンソー	鉄線カッター		
数量	6	1		1	1	5	1		7	13		

用途	測定用					破壊用		呼吸保護用				
名 称	複合ガス濃度測定器 (含む)	放射能測定器 (ポケット含む)	有毒ガス測定器	マルチガスモニター ボックスタブル	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマドリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	送排風機一式
数量	3	20	1		3	1	2	16			25	1

用途	隊員保護用											
名 称	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服 (簡易防護服含む)	防毒衣			
数量	15	2	2	2		5	2	39				

用途	水難救助用				画像探索機				その他			
名 称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープⅢ型	画像探索機Ⅱ型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアートtent	画像伝送装置一式
数量		49	1	1	1			1			2	

消防水利現勢

令和 7. 4. 1 現在

地区 種別			木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計	
公設消防水利	消 火 栓	公 設 消 火 栓	29	59	40	121	112	86	447	
	防 火 水 槽	20 m³ 以 上 40 m³ 未 満			1	6	4	2	13	
		40 m³ 以 上 100 m³ 未 満	1	14	6	12	16	15	64	
		防 火 水 槽 小 計		1	14	7	18	20	17	77
指定消防水利	消 火 栓	私 設 消 火 栓			1	1		1	3	
	防 火 水 槽	20 m³ 以 上 40 m³ 未 満	1	4	3	8	9	1	26	
		40 m³ 以 上 100 m³ 未 満	2	9	4	22	18	2	57	
		100 m³ 以 上	2	1				1	4	
		防 火 水 槽 小 計		5	14	7	30	27	4	87
	そ の 他	プ ー ル 等		1		1	3	2	7	
		そ の 他 小 計		1		1	3	2	7	
そ の 他	海 ・ 河川					1	3		4	
合 計			35	88	55	172	165	110	625	

空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果

令和6年度

地区		調査対象	繁茂（未刈取り）	繁茂なし （刈取り・該当なし）
木古庭	第1 管理状況調査	1	1	
	第2 管理状況調査	1	1	
	最終管理状況調査	1		1
上山口	第1 管理状況調査	10	2	8
	第2 管理状況調査	2	1	1
	最終管理状況調査	1	1	
下山口	第1 管理状況調査	6	2	4
	第2 管理状況調査	2	2	
	最終管理状況調査	3	3	
一色	第1 管理状況調査	7	5	2
	第2 管理状況調査	5	2	3
	最終管理状況調査	2		2
堀内	第1 管理状況調査	9	3	6
	第2 管理状況調査	3	2	1
	最終管理状況調査	2	1	1
長柄	第1 管理状況調査	11	9	2
	第2 管理状況調査	9	5	4
	最終管理状況調査	5	4	1
合計	第1 管理状況調査	44	22	22
	第2 管理状況調査	22	13	9
	最終管理状況調査	14	9	5

過去3年間の枯草繁茂状況

調査年度		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り・該当なし)
令和5年度	第1 回管理状況調査	56	25	31
	最終管理状況調査	8	6	2
令和4年度	第1 回管理状況調査	61	27	34
	最終管理状況調査	10	7	3
令和3年度	第1 回管理状況調査	66	35	31
	最終管理状況調査	10	8	2

注) 調査対象は次の基準に該当した空地に繁茂する枯草。

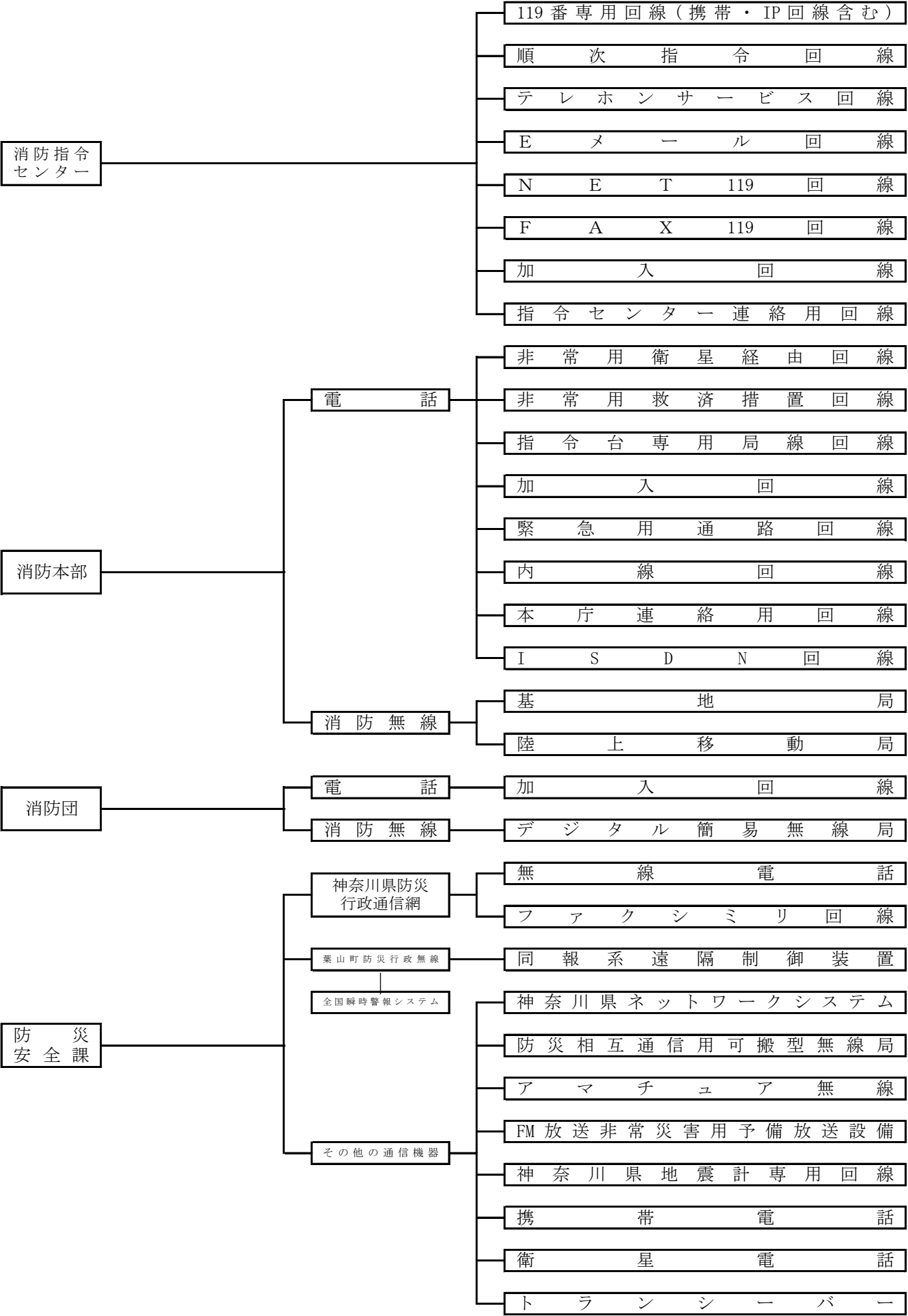
1. 建築物及び危険物施設等から10メートル以内に繁茂し、かつ高さが50センチメートル以上である場合。
2. 宅地造成地内に繁茂する枯草で、高さが50センチメートル以上である場合。
3. その他、特に火災予防上危険である場合。

指 令 関 係

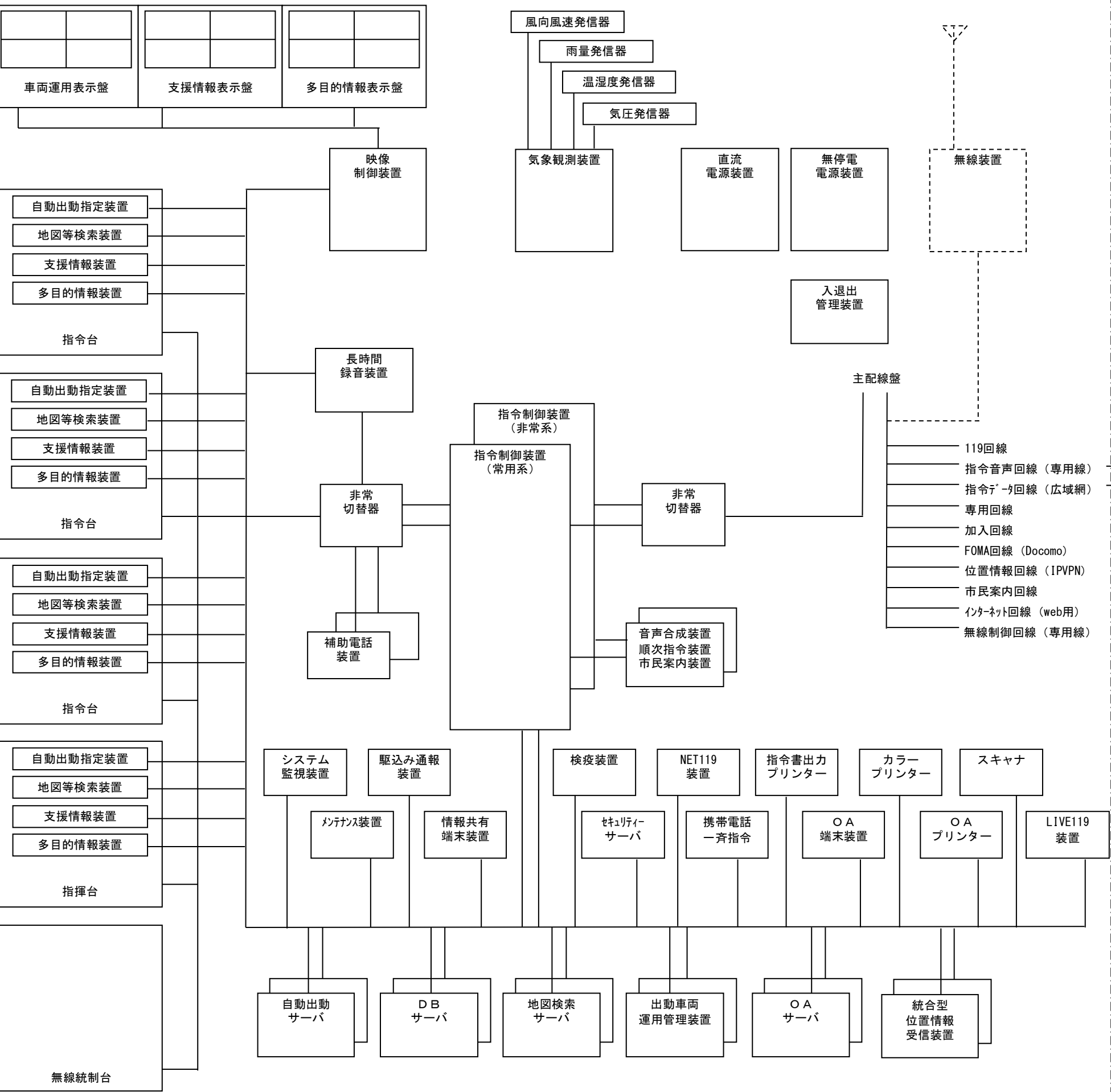


横須賀市・葉山町消防指令センター

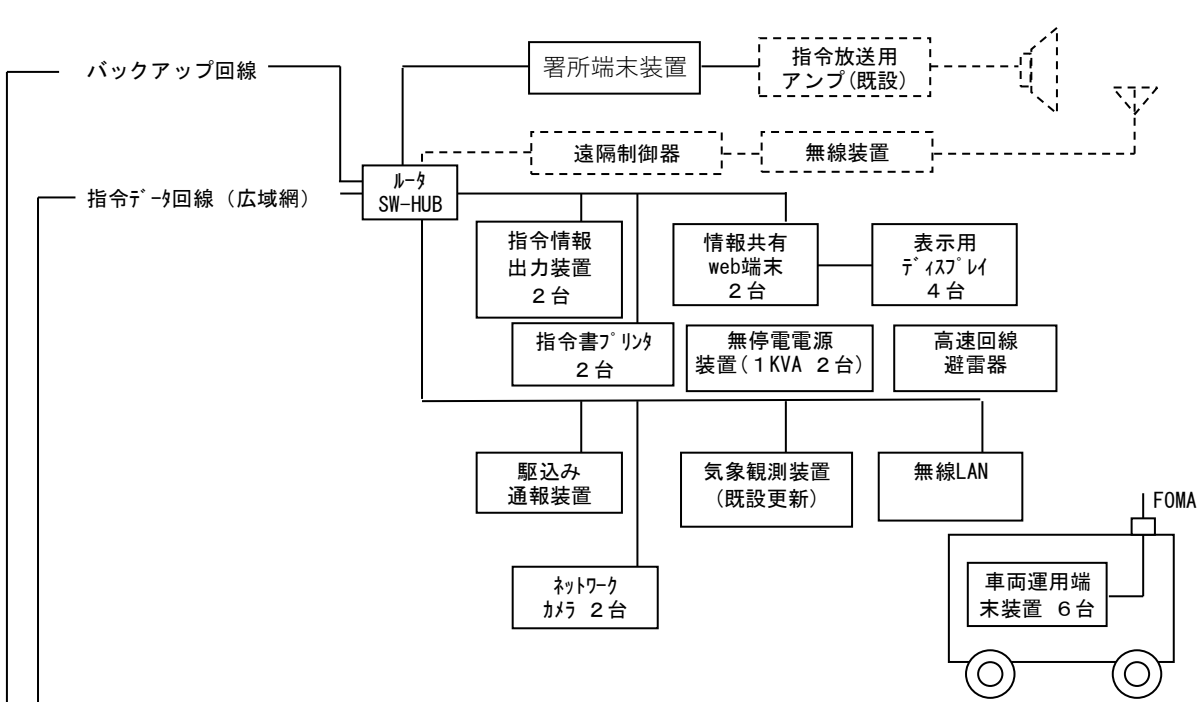
町の通信施設



消防通信システム系統図
横須賀市・葉山町消防指令センター



葉山町消防署



消防指令センター・消防本部・消防署回線

令和7.4.1現在

種 別		数 量
消 防 指 令 セ ン タ ー	119番専用回線(携帯・I P回線含む)	20
	順次指令回線	8
	テレホンサービス回線	20
	Eメール回線	1
	N E T119回線	1
	F A X119回線	1
	加入回線	1
	指令センター連絡用回線	1
消 防 本 部 ・ 消 防 署	非常用衛星経由回線	1
	非常用救済措置回線	2
	指令台専用局線回線	2
	緊急用通路回線（着信専用）	1
	I S D N回線(県所有1回線含む)	2
	電話交換装置	1
	主配線盤（M D F）	1
	加入回線(ダイヤルイン・多機能)	6
	内線回線	66
	本庁（役場）連絡用回線	6

消防指令センター・消防本部・消防署通信機器

1 指令情報施設（消防指令センター） 令和7.4.1現在

名 称			数量	名 称			数量
指令装置	指 令 台		6 台	表示盤	車 両 運 用 表 示 盤		2 面
	自 動 出 動 サ ー バ		1 台		支 援 情 報 表 示 盤		2 面
	デ ー タ ベ ー ス サ ー バ		1 台		映 像 制 御 P C		1 台
	自 動 デ ー タ メ ン テ ナ ン ス 装 置		1 台		多 目 的 情 報 表 示 盤		3 面
	表 示 盤 接 続 用 端 末 装 置		3 台		シ ス テ ム 制 御 装 置		1 台
	事 案 管 制 装 置		3 台		映 像 操 作 タ ッ チ パ ネ ル P C		1 台
	多 目 的 情 報 表 示 装 置		3 台		駆 込 通 報 装 置 受 付 用 P C		1 台
	自 動 出 動 指 定 装 置		3 台		駆 込 通 報 装 置 受 付 用 電 話 機		1 台
	地 図 検 索 サ ー バ		1 台		順 次 指 令 装 置		1 台
	地 図 デ ー タ メ ン テ ナ ン ス 装 置		1 台		音 声 合 成 装 置		1 台
	地 図 検 索 装 置		3 台		シ ス テ ム 監 視 装 置		1 台
	長 時 間 録 音 装 置		1 台		無 停 電 電 源 装 置		2 式
	非 常 用 指 令 設 備		1 式		直 流 電 源 装 置		2 式
	指 令 制 御 装 置		1 式		携 帯 電 話 一 斉 指 令 装 置		1 台
	指 令 メ ン テ ナ ン ス サ ー バ		1 台		高 速 電 源 避 雷 器		2 台
	デ ー タ メ ン テ ナ ン ス 装 置		1 台		N E T 119 ク ラ イ ア ン ト		1 台
指揮台	指 揮 台		2 台		L I V E 119 ク ラ イ ア ン ト		1 台
	事 案 管 制 装 置		1 台		無 線 統 制 台 統 制 席		1 台
	多 目 的 情 報 表 示 装 置		1 台		無 線 統 制 台 個 別 席		7 台
	自 動 出 動 指 定 装 置		1 台		統 合 型 位 置 情 報 通 知 装 置		1 台
	地 図 等 検 索 装 置		1 台				
指令電送装置	自 動 出 動 サ ー バ		1 台				
	ウ イ ル ス 対 策 サ ー バ		1 台				
	検 疫 P C		1 台				

2 指令情報施設（消防本部・消防署） 令和7.4.1現在

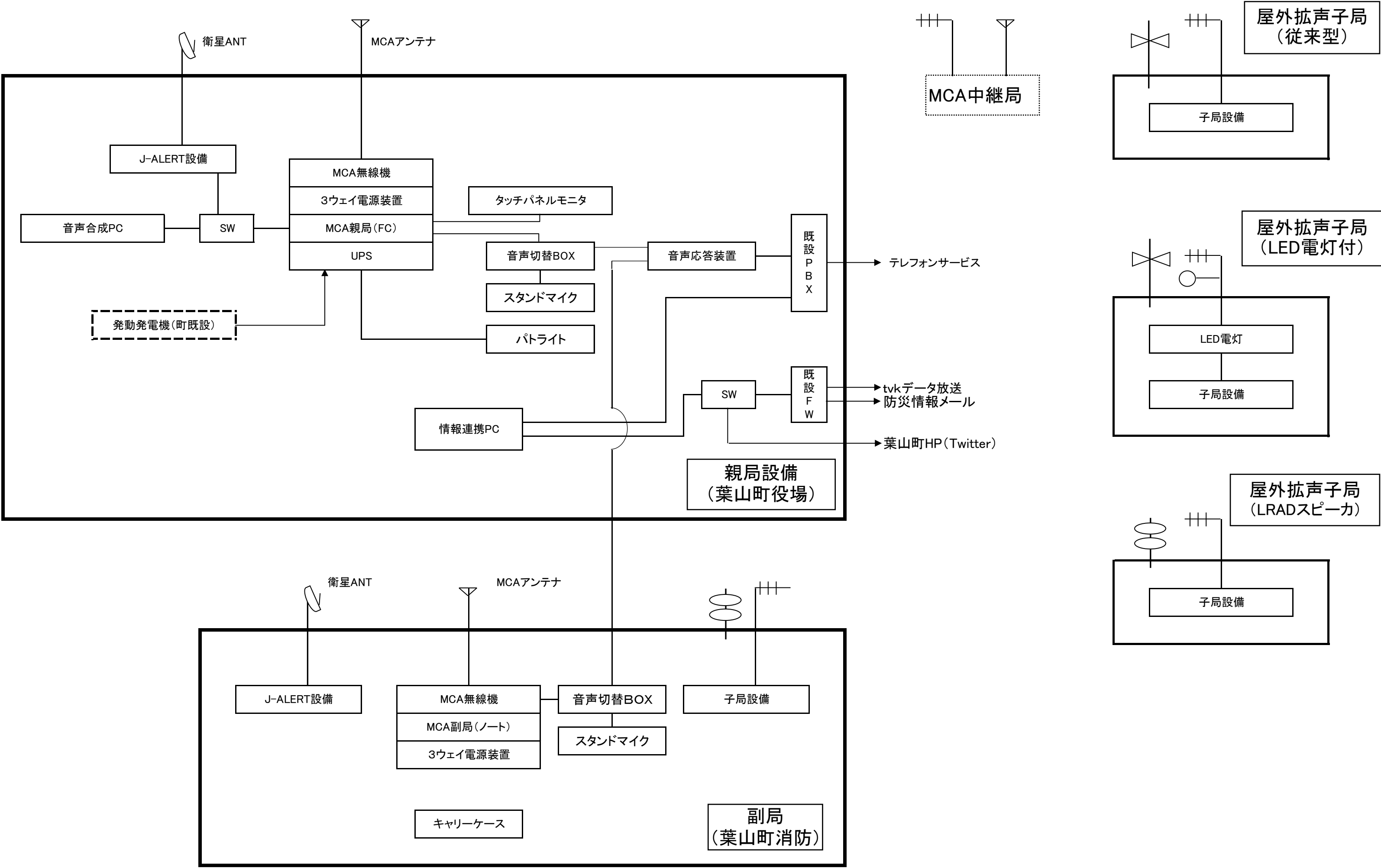
名 称			数量	名 称			数量
受 令 端 末 装 置			1 台	風 向 風 速 発 信 器			1 式
指 令 情 報 出 力 装 置			2 台	雨 量 発 信 器			1 式
情 報 共 有 W E B 端 末			2 台	気 象 総 合 変 換 器			1 式
表 示 用 液 晶 デ ィ ス プ レ イ			4 台	G P S 時 計 装 置			1 式
無 停 電 電 源 装 置			2 台	気 象 デ ー タ 処 理 装 置			1 台
高 速 回 線 避 雷 器			1 式	車 両 運 用 端 末 装 置			8 台
高 速 電 源 避 雷 器			1 式	デ ー タ 指 令 端 末 装 置			1 台
ネ ッ ト ワ ー ク カ メ ラ			2 台	自 己 覚 知 端 末 装 置			1 台
駆 込 通 報 装 置			1 台				

無線局配置状況

令和 7 . 4 . 1 現在

種別	呼出名称	空中線電力(W)	摘要
基地局	葉山消防	8	1CH（消防波）2CH（救急波） 送受信所：葉山町消防本部内 通信所：横須賀市消防局内
陸上移動局	葉山広報 1	5	可搬型
	葉山指揮本部 1		
	葉山指揮 1		車載型
	葉山指揮ポンプ 1		
	葉山ポンプ 2		
	葉山救助 1		
	救急葉山 1		
	救急葉山 2		
	葉山機動 1		
	葉山機動 2		
	葉山資材 1		
	葉山資材 2		
	葉山指揮101	2	携帯型
	葉山指揮ポンプ101		
	葉山ポンプ201		
	葉山救助101		
	救急葉山101		
	救急葉山201		
	葉山機動101		
	葉山機動201		
	葉山資材101		
	葉山資材201		
	葉山101		
	葉山指揮301～303	1	携帯型 （署活系無線）
	葉山指揮ポンプ301～304		
	葉山ポンプ301～304		
	葉山救助301～304		
	救急葉山301～304		
	葉山301、302		

防災行政無線システム構成図



防災通信機器等

1 通信施設

(1)葉山町防災行政無線 令和7.4.1現在

種 別		台数	設 置 場 所
固定系	親 局	1 式	役 場 防 災 行 政 無 線 室
	副 局	1 式	消 防 作 戦 室 （ 防 災 行 政 無 線 室 ）
	子 局	33台	町 内 各 箇 所
移動系	車載局・可搬局・携帯局	27台	役場・各学校・その他関係機関等（次頁参照）

(2)神奈川県防災行政通信網 令和7.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
防 災 端 末	消 防 本 部 ・ 役 場	3 台	各 関 係 部 署 に 配 置
防 災 電 話 機	消 防 本 部 ・ 役 場	6 台	各 関 係 部 署 に 配 置

ア 防災電話機配置場所及び番号 令和7.4.1現在

設 置 場 所	番 号	設 置 場 所	番 号
通 信 指 令 係	3203	防 災 安 全 課	3200
消 防 署 事 務 室	2200	防 災 安 全 課	3201
防 災 安 全 課	3202	防 災 安 全 課	衛星専用

2 その他通信機器等 令和7.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
県災害情報管理システム	総務部防災安全課 消防本部事務室	1 式	神奈川県情報セキュリティクラウドにて接続
アマチュア無線局	消防本部事務室	2 基	代表 葉山アマチュア無線クラブ
県計測震度計	消防作戦室（防災行政無線室）	1 式	神奈川県防災行政通信網にて接続
携 帯 電 話	総務部防災安全課	10台	災 害 非 常 用

種	別	呼 出 し 名 称	配 置 先
MCA無線	1 可 搬 型	は や ま 101	災害対策本部用
	2 可 搬 型	は や ま 102	葉山町消防本部
	3 可 搬 型	は や ま 103	葉山警察署警備課
	4 可 搬 型	は や ま 104	災害対策本部用
	5 可 搬 型	は や ま 105	災害対策本部用
	6 可 搬 型	は や ま 106	災害対策本部用
	7 可 搬 型	は や ま 107	上山口小学校(指定避難所)
	8 可 搬 型	は や ま 108	一色小学校(指定避難所)
	9 可 搬 型	は や ま 109	葉山小学校(指定避難所)
	10 可 搬 型	は や ま 110	長柄小学校(指定避難所)
	11 可 搬 型	は や ま 111	葉山中学校(指定避難所)
	12 可 搬 型	は や ま 112	南郷中学校(指定避難所)
	13 携 帯 型	は や ま 201	福祉文化会館(指定緊急避難所)
	14 携 帯 型	は や ま 202	木古庭会館・児童館(指定緊急避難所)
	15 携 帯 型	は や ま 203	上山口会館・児童館(指定緊急避難所)
	16 携 帯 型	は や ま 204	下山口会館・児童館(指定緊急避難所)
	17 携 帯 型	は や ま 205	葉桜会館・児童館(指定緊急避難所)
	18 携 帯 型	は や ま 206	県立逗子葉山高校(指定緊急避難所)
	19 携 帯 型	は や ま 207	南郷上ノ山公園
	20 携 帯 型	は や ま 208	災害対策本部用
	21 携 帯 型	は や ま 209	災害対策本部用
	22 携 帯 型	は や ま 210	災害対策本部用
	23 携 帯 型	は や ま 211	災害対策本部用
	24 携 帯 型	は や ま 212	災害対策本部用
	25 車 載 型	は や ま 301	消防本部指揮車
	26 車 載 型	は や ま 303	役場共用車 9 号車
	27 車 載 型	は や ま 305	道路河川課専用車

消防団通信機器等

1 無線・有線施設

令和 7. 4. 1 現在

番号	設 備	台 数
1	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	65 台
2	加 入 電 話	6 台

2 無線局

令和 7. 4. 1 現在

規 格	局 数	設 置 場 所	台 数	出力 (W)
デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	65局	本 団	16 台	5 W
		第 1 分 団	8 台	5 W
		第 2 分 団	8 台	5 W
		第 3 分 団	8 台	5 W
		第 4 分 団	8 台	5 W
		第 5 分 団	9 台	5 W
		第 6 分 団	8 台	5 W

119番着信件数（固定・IP電話）

令和6年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	2	874	5	7	5	44		38	122	57	42	1,196

119番着信件数（携帯電話）

令和6年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	12	1,055	10	25	87	75	2	182	131	20	2	1,601

FAXからの通報件数

令和6年中

件数
0

NET119を利用しての通報件数

令和6年中

件数
0

NET119登録者数

令和7.4.1現在

登録者数
18

LIVE119利用件数

令和6年中

件数
28

氣 象 関 係



不動滝

月別気象調

気温(℃)

令和6年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最 高	17.5	20.7	24.3	25.0	26.5	31.3	34.7	35.8	33.0	29.2	23.2		
(起日)	(6日)	(20日)	(31日)	(26日)	(29日)	(26日)	(31日)	(9日)	(19日)	(2日)	(4日)		
最 低	0.1	0.6	1.0	8.2	8.8	15.8	22.5	24.3	18.6	11.8	5.6		
(起日)	(26日)	(5日)	(8日)	(11日)	(10日)	(4日)	(13日)	(20日)	(24日)	(21日)	(20日)		
平均	8.3	8.5	10.1	16.4	19.2	22.5	27.6	28.7	26.5	20.9	14.4		

湿度(%)

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最 高	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9		
(起日)	(21日)	(20日)	(29日)	(30日)	(31日)	(30日)	(31日)	(31日)	(28日)	(30日)	(27日)		
最 低	17.4	23.9	14.9	28.1	34.3	35.6	57.5	50.5	55.8	48.4	31.9		
(起日)	(26日)	(27日)	(18日)	(19日)	(4日)	(8日)	(10日)	(10日)	(5日)	(30日)	(23日)		
平均	54.4	66.3	61.4	80.3	82.3	85.6	87.3	86.3	86.8	83.5	71.8		

風速(m/s)

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最 高	22.7	24.4	26.4	27.0	28.8	19.9	19.2	18.7	23.8	16.5	19.2		
風向	北北西	南	南南西	南南西	南	南	南	南南西	南	南	西北西		
(起日)	(14日)	(20日)	(29日)	(9日)	(28日)	(28日)	(1日)	(31日)	(22日)	(4日)	(28日)		
平均	1.8	2.0	2.0	1.6	2.4	1.7	1.6	2.1	2.1	1.7	1.7		

雨量(mm)・積雪量(cm)

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
日最大	1.5	2.0	14.5	25.0	30.0	105.5	9.5	83.5	20.0	32.5	60.5		
(起日)	(21日)	(5日)	(29日)	(9日)	(13日)	(18日)	(12日)	(30日)	(1日)	(9日)	(2日)		
降雨日数	3日	8日	7日	9日	12日	11日	9日	6日	7日	11日	9日		
降雨量	2.5	10.5	29.0	36.5	112.0	303.5	26.0	156.5	63.0	113.0	169.5		
積雪日数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積雪量	0	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 12月の気温、湿度、風速及び雨量は、気象観測装置不具合により欠測

風向頻度調(%)

令和6年中

月別 風向 平均		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
北	5.5	7.3	9.5	8.0	3.9	2.5	3.0	3.1	2.6	3.3	9.4	7.2	
北北東	6.7	8.8	10.7	6.4	6.0	3.6	2.7	3.9	2.4	5.2	11.3	11.8	
北東	10.2	13.4	17.0	10.7	11.0	7.0	4.4	3.9	4.3	6.4	14.3	17.4	
東北東	16.7	20.9	19.8	18.1	21.5	12.5	13.7	11.2	10.7	10.7	17.1	24.8	
東	9.5	9.2	9.7	7.6	12.7	7.7	10.2	8.7	8.8	9.2	9.6	10.1	
東南東	3.9	2.4	3.0	2.6	4.5	3.9	6.2	5.0	4.7	3.3	4.3	3.6	
南東	3.0	1.1	1.5	2.3	3.5	4.2	4.4	4.3	4.1	3.1	3.1	2.1	
南南東	4.9	0.9	1.3	3.0	4.4	8.5	8.5	8.6	10.9	7.1	3.1	0.9	
南	13.5	3.0	6.0	9.7	11.5	26.2	20.1	20.0	28.0	26.2	7.6	2.2	
南南西	7.4	3.1	2.8	4.5	7.5	12.0	13.4	15.6	13.1	9.5	2.5	1.3	
南西	2.5	0.9	0.9	1.1	3.1	3.8	3.6	7.0	4.1	2.1	0.9	0.7	
西南西	0.9	0.7	0.6	1.0	0.9	0.8	0.9	1.8	1.1	0.5	0.7	0.5	
西	1.1	1.9	1.2	1.2	1.3	0.8	0.8	0.8	0.7	0.5	0.4	0.7	
西北西	2.7	6.2	1.8	3.3	1.3	1.2	1.4	1.0	0.9	1.1	0.9	4.2	
北西	5.0	10.5	3.9	7.1	2.4	2.5	3.1	2.0	1.7	5.5	5.1	6.6	
北北西	6.4	9.7	10.3	13.4	4.5	2.8	3.6	3.1	1.9	6.3	9.7	5.9	
静穏	1.9	1.2	0.8	1.6	2.5	1.5	3.3	2.9	2.7	1.6	2.6	1.0	

※ 12月の風向は、気象観測装置不具合により欠測

予 防 関 係



住宅用火災警報器横断幕

防火対象物・防火管理者選任状況

(防火対象物数は延べ面積150㎡以上)

令和7.4.1現在

用途			区分	防火対象物数	防火管理者 選任義務対象物	防火管理者 選任届出済対象物
1 項	イ	劇 場 等				
	ロ	公 会 堂 等	15	20	20	
2 項	イ	キ ャ バ レ ー 等				
	ロ	遊 技 場 等				
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等				
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等				
3 項	イ	待 合 等				
	ロ	飲 食 店 等	20	15	14	
4 項		物 品 販 売 店 等	34	22	21	
5 項	イ	旅 館 等	28	13	13	
	ロ	共 同 住 宅 等	193	23	23	
6 項	イ	病 院 等	6	2	2	
	ロ	社会福祉施設等（入所）	13	12	12	
	ハ	社会福祉施設等（通所）	10	12	12	
	ニ	幼 稚 園 等	7	7	7	
7 項		学 校 等	17	20	20	
8 項		図 書 館 等	4	3	3	
9 項	イ	蒸 気 浴 場 等				
	ロ	公 衆 浴 場 等				
10 項		停 車 場 等				
11 項		神 社 等	17	4	4	
12 項	イ	工 場 等	8	1	1	
	ロ	ス タ ジ オ 等				
13 項	イ	駐 車 場 等	4			
	ロ	格 納 庫 等				
14 項		倉 庫	11			
15 項		事 業 所 等	49	13	13	
16 項	イ	特 定 複 合 用 途	77	29	29	
	ロ	非 特 定 複 合 用 途 等	22	2	2	
16項の2		地 下 街				
16項の3		準 地 下 街				
17 項		重 要 文 化 財 等	1	1	1	
18 項		ア ー ケ ー ド				
合 計			536	199	197	

5階建て以上防火対象物状況

(延べ面積150㎡以上)

令和7.4.1現在

用途			階数	地上5階未満 (地下のみを除く)	地上5階以上	左記2列の件数の			地下のみ	合計
						うち地下1階	うち地下2階	うち地下3階以下		
1 項	イ	劇場等								
	ロ	公会堂等		15		1				15
2 項	イ	キャバレー等								
	ロ	遊技場等								
	ハ	性風俗関連店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
3 項	イ	待合等								
	ロ	飲食店等		20		1				20
4 項		物品販売店等		34		1				34
5 項	イ	旅館等		28		7	1			28
	ロ	共同住宅等		173	20	24	2			193
6 項	イ	病院等		6				1		6
	ロ	社会福祉施設等（入所）		12	1	2				13
	ハ	社会福祉施設等（通所）		10		1				10
	ニ	幼稚園等		7						7
7 項		学校等		17		2				17
8 項		図書館等		4		2	1			4
9 項	イ	蒸気浴場等								
	ロ	公衆浴場等								
10 項		停車場等								
11 項		神社等		17		1				17
12 項	イ	工場等		8						8
	ロ	スタジオ等								
13 項	イ	駐車場等		3					1	4
	ロ	格納庫等								
14 項		倉庫		11						11
15 項		事業所等		49		7	1	1		49
16 項	イ	特定複合用途		75	2	14	1	1		77
	ロ	非特定複合用途等		21	1	1				22
16 項の2		地下街								
16 項の3		準地下街								
17 項		重要文化財等		1						1
18 項		アーケード								
合計				511	24	64	6	3	1	536

防火対象物届出状況

(消防用設備等点検結果報告書の非特定用途防火対象物は令和3年度から令和5年度までの期間)

令和6年度

用途		届出	防火 管理 者選 任(解 任) 届出 書	消 防 計 画作 成(変 更) 届出 書	統 括 防 火 管 理 者選 任(解 任) 届出 書	全 体 に つ い て の 消 防 計 画作 成(変 更) 届出 書	防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	特 例 認 定 適 用 申 請 書	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 又 は 取 扱 い の 届出 書	消 防 用 設 備 等 設 置 届出 書	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	表 示 マ ー ク 交 付 (更 新) 申 請 書	火 気 使 用 設 備 等 設 置 届出 書	電 気 設 備 等 設 置 届出 書	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届出 書
1	イ	劇 場 等													
	ロ	公 会 堂 等	2	2			4				18				
2	イ	キ ャ バ レ ー 等													
	ロ	遊 技 場 等													
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等													
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													
3	イ	待 合 等													
	ロ	飲 食 店 等	3	3						7	21				6
4		物 品 販 売 店 等	6	6			1			6	32				3
5	イ	旅 館 等	4	5			3			34	38				17
	ロ	共 同 住 宅 等	2	2						10	64			2	1
6	イ	病 院 等	1	1			1			12	10				1
	ロ	社 会 福 祉 施 設 等 (入 所)	3	3						4	12			1	
	ハ	社 会 福 祉 施 設 等 (通 所)	3	3						1	18				4
	ニ	幼 稚 園 等									7				
7		学 校 等	7	9							7				
8		図 書 館 等									4				
9	イ	蒸 気 浴 場 等													
	ロ	公 衆 浴 場 等													
10		停 車 場 等													
11		神 社 等									7				
12	イ	工 場 等							1		4				
	ロ	ス タ ジ オ 等													
13	イ	駐 車 場 等													
	ロ	格 納 庫 等													
14		倉 庫									3				
15		事 業 所 等	2	1						3	20		1	3	4
16	イ	特 定 複 合 用 途	5	4	2	2	8			11	63		1	2	3
	ロ	非 特 定 複 合 用 途									6				
16項の2		地 下 街													
16項の3		準 地 下 街													
17		重 要 文 化 財 等													
18		ア ー ケ ー ド													
そ の 他									1					5	
合 計			38	39	2	2	17		2	88	334		2	13	39

その他届出状況

令和6年度

月 届出	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
催物開催届出書				1						1	1		3
火災と紛らわしい行為の届出書	13	4	2	2	2	4	6	13	20	12	7	6	91
煙火打上げ届出書			3	2	1								6
道路工事（占用）届出書	7	9	10	4	5	10	6	6	5	6	13	17	98
露店等開設届出書	1			2	2	1	1						7

危険物関係届出状況

令和6年度

種別 製造所等の別	少量危険物貯蔵取扱い届出書	少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	危険物保安監督者選任（解任）届出書	危険物製造所等変更届出書	危険物製造所等譲渡引渡届出書	危険物製造所等休止届出書	危険物製造所等廃止届出書
屋内貯蔵所							
屋内タンク貯蔵所							
地下タンク貯蔵所							1
移動タンク貯蔵所							
給油取扱所			4	4			
第2種販売取扱所							
一般取扱所							
その他の事業所等	1						
合 計	1		4	4			1

火災予防査察実施状況

防火対象物（対象は150㎡以上）

令和6年度

消防法施行令 別表第1の防火対象物			査察実施数	防火対象物数A	査察実施数B	査察実施率B/A %	警告数	命令数
(1)	ロ	公会堂等		15				
(3)	ロ	飲食店等		20	7	35		
(4)		物品販売店等		34	15	44		
(5)	イ	旅館等		28	12	43		
	ロ	共同住宅等		193				
(6)	イ	病院等		6	1	17		
	ロ	社会福祉施設等（入所）		13	13	100		
	ハ	社会福祉施設等（通所）		10	5	50		
	ニ	幼稚園等		7				
(7)		学校等		17				
(8)		図書館等		4				
(11)		神社等		17				
(12)	イ	工場等		8				
(13)	イ	駐車場等		4				
(14)		倉庫		11				
(15)		事業所等		49	1	2		
(16)	イ	特定複合用途		77	21	27		
	ロ	非特定複合用途等		22				
(17)		重要文化財等		1				
合 計				536	75	14		

危険物施設

令和6年度

危険物施設	危険物施設数A	査察実施数B	査察実施率B/A%	警告数	命令数
屋内貯蔵所	1	1	100		
屋内タンク貯蔵所	1	1	100		
地下タンク貯蔵所	8	5	63		
移動タンク貯蔵所	1	1	100		
給油取扱所	8	8	100		
第2種販売取扱所	1	1	100		
一般取扱所	8	1	13		
合 計	28	18	64		

危険物施設状況

令和 7 . 4 . 1 現在

貯蔵所等 区分		貯蔵所				取扱所			合 計
		屋 内	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	移 動 タ ン ク	給 油	第 2 種 販 売	一 般	
類 別	第 1 類								
	第 2 類								
	第 3 類								
	第 4 類	1	1	8	1	8	1	8	28
	第 5 類								
	第 6 類								
合 計		1	1	8	1	8	1	8	28

数 量 別	5 倍 以 下	1	1	6	1			2	11
	5 倍を超え10 倍以下			2		1		6	9
	10 倍を超え50 倍以下					2	1		3
	50 倍を超え100 倍以下					1			1
	100 倍を超え150 倍以下								
	150 倍を超え200 倍以下					1			1
	200 倍 を 超 え る も の					3			3
合 計		1	1	8	1	8	1	8	28

地区別危険物施設状況

令和 7. 4. 1 現在

地区 貯蔵所等		木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
屋 内 貯 蔵 所						1		1
屋内タンク貯蔵所						1		1
地下タンク貯蔵所		1	1	1	1	3	1	8
移動タンク貯蔵所							1	1
給 油 取 扱 所		3			2	2	1	8
第 2 種 販 売 取 扱 所		1						1
一 般 取 扱 所		1	2	1	3		1	8
合 計		6	3	2	6	7	4	28
少 量 危 険 物		2	11	3	9	8	8	41

地区別危険物貯蔵取扱状況

令和 7. 4. 1 現在

地区 類別		木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
第 4 類 (0)	第 1 石 油 類	86,000			80,000	6,380	50,000	222,380
	第 2 石 油 類	48,956.8	16,078	14,000	70,000	31,070	41,540	221,644.8
	第 3 石 油 類	6,000			11,000		8,000	25,000
	第 4 石 油 類							
合 計		140,956.8	16,078	14,000	161,000	37,450	99,540	469,024.8

危険物施設許認可処理状況

令和6年度

貯蔵所等 件数		貯蔵所				取扱所			その他の 事業所等	合 計
		屋内	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	給油	第2種 販売	一般		
許 可	変 更									
	設 置									
完 成 検 査	変 更									
	設 置									
他 市 へ の 変 更 (移 動 タ ン ク)										
仮 使 用 承 認										
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱										
完 成 検 査 前 検 査										
予 防 規 程	変 更									
	制 定									

用途別建築同意等事務処理状況

(計画通知は同意に含む)

令和6年度

用途 \ 種別			新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	合 計
1	イ	劇 場 等					
	ロ	公 会 堂 等					
2	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等					
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等					
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					
3	イ	待 合 等					
	ロ	飲 食 店 等	1				1
4		物 品 販 売 店 等	1				1
5	イ	旅 館 等	2	1			3
	ロ	共 同 住 宅 等	1				1
6	イ	病 院 等		1			1
	ロ	社 会 福 祉 施 設 等（入 所）					
	ハ	社 会 福 祉 施 設 等（通 所）					
	ニ	幼 稚 園 等					
7		学 校 等					
8		図 書 館 等					
9	イ	蒸 気 浴 場 等					
	ロ	公 衆 浴 場 等					
10		停 車 場 等					
11		神 社 等					
12	イ	工 場 等					
	ロ	ス タ ジ オ 等					
13	イ	駐 車 場 等					
	ロ	格 納 庫 等					
14		倉 庫					
15		事 業 所 等	1	1			2
16	イ	特 定 複 合 用 途					
	ロ	非 特 定 複 合 用 途 等					
住 宅		同 意	5				5
		通 知	145	8			153
長 屋			1				1
仮 設 海 の 家			8				8
建 築 設 備		通 知	13				13
そ の 他			6				6
小 計		同 意	26	3			29
		通 知	158	8			166
合 計			184	11			195

地区別消防同意・確認通知・計画通知状況

令和6年度

地区 区分	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
消 防 同 意	1	1	5	4	16	2	29
確 認 通 知	3	3	20	50	50	40	166
計 画 通 知							
合 計	4	4	25	54	66	42	195

過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

年 種別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新 築	19	21	30	40	26
	140	147	143	114	158
増 築		4	2	1	3
	9	6	5	6	8
改 築					
用 途 変 更		1			
小 計	19	26	32	41	29
	149	153	148	120	166
合 計	168	179	180	161	195

上段 消防同意によるもの

中段 確認通知によるもの

下段 計画通知によるもの

救 急 関 係



救急フェア

救急概況

救急出場件数単位：件

救急搬送人員単位：人

令和6年中

救急出場件数	1,914
救急搬送人員	1,800

町内外在住別搬送人員状況

単位：人

令和6年中

町内在住者	1,537
町外在住者	258
その他	5
合計	1,800

傷病程度別搬送人員状況

単位：人

令和6年中

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
25	126	946	702	1	1,800

発生日別状況

単位：件

令和6年中

休日	休日以外	合計
361	1,553	1,914

救急救命士資格者及び再教育実施状況

単位：人

令和7.4.1現在

救急救命士 (指導救命士)	特定行為認定救命士				再教育
	気管挿管	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	薬剤投与	拡大2行為	
19 (4)	14	12	19	19	13

・「拡大2行為」とは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与をいう。

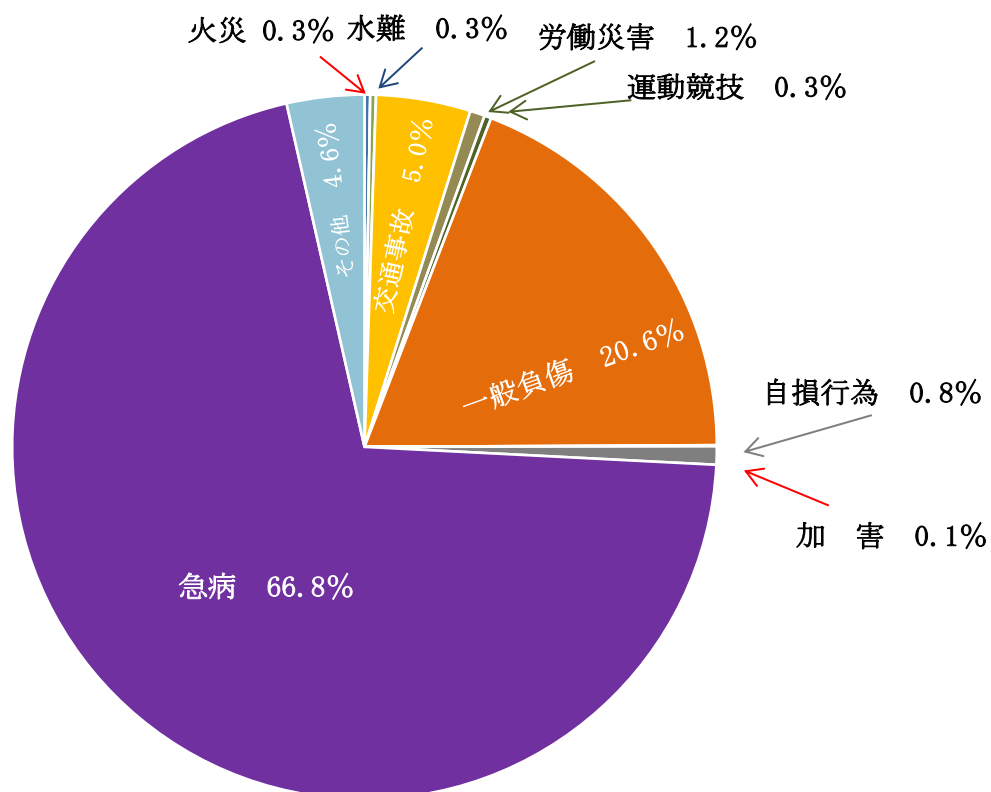
・「再教育」とは、救急業務に従事している者で、2年間で128時間以上(64時間以上の病院実習、32時間の指導救命士による救急隊員に対する教育及び32時間の指定教育プログラム)の教育を修了した者。

救急出場・搬送人員状況

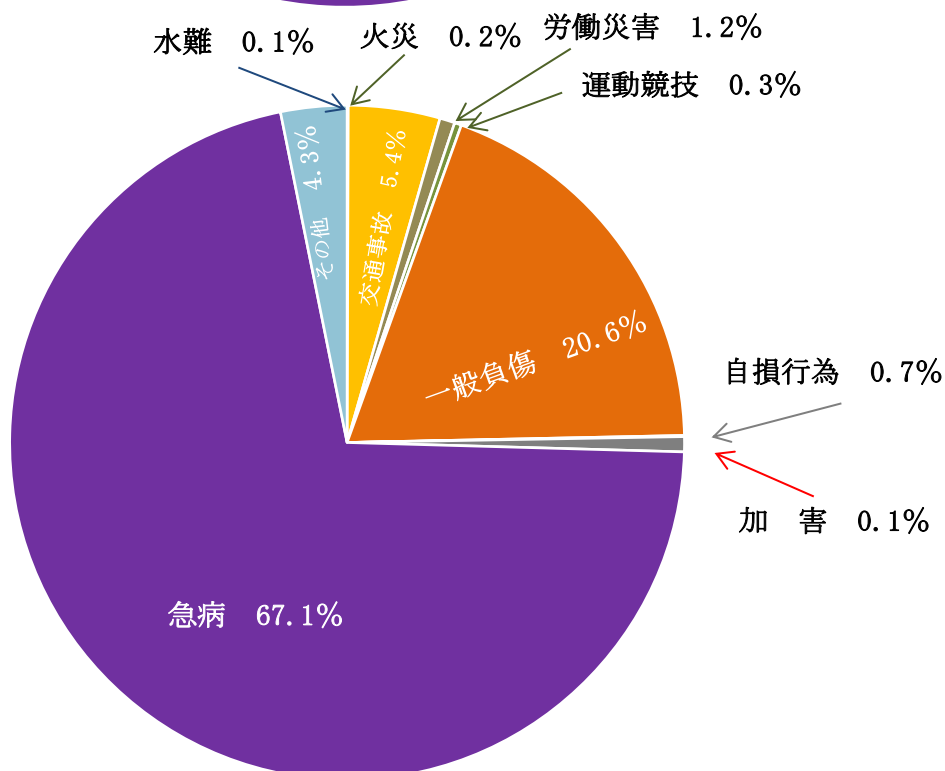
令和6年中

種別 件数/人員	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
出 場 件 数	5		5	83	13	6	365	1	16	1,352	68	1,914
搬 送 人 員			1	79	13	6	345	1	13	1,285	57	1,800

出場件数



搬送人員



月別救急出場・搬送人員状況

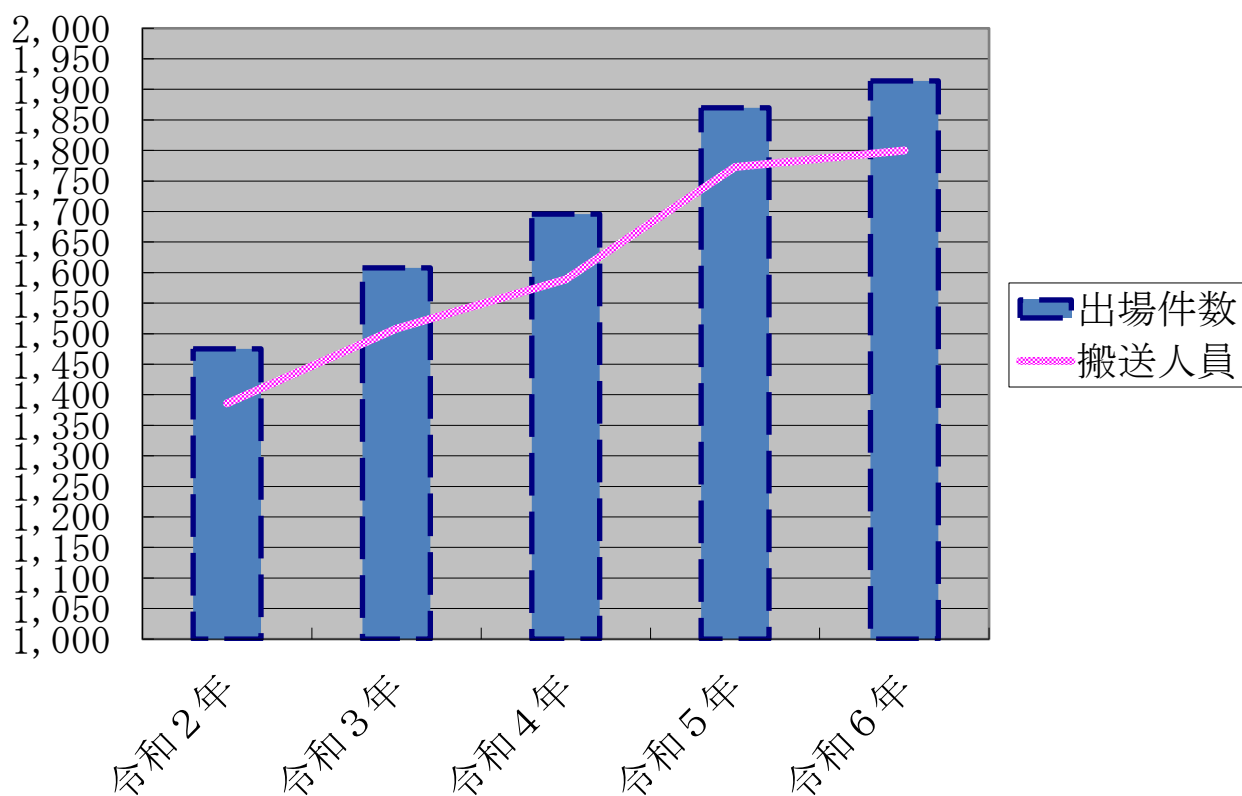
令和6年中

月	種別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計	不 搬 送
	件数/人員													
1	出 場 件 数	1			6		1	34	1	1	120	4	168	9
	搬 送 人 員				6		1	32	1		115	4	159	
2	出 場 件 数				4			31			92	7	134	9
	搬 送 人 員				4			26			89	6	125	
3	出 場 件 数			1	9	1		27		2	113	13	166	7
	搬 送 人 員				8	1		26		2	110	12	159	
4	出 場 件 数	1			14	2	1	29		4	94	8	153	15
	搬 送 人 員				12	2	1	27		3	87	6	138	
5	出 場 件 数				7	2		29			88	7	133	12
	搬 送 人 員				7	2		27			79	6	121	
6	出 場 件 数			1	8	1	1	32		2	103	2	150	4
	搬 送 人 員				8	1	1	31		1	102	2	146	
7	出 場 件 数	1		1	8	2		30			136	3	181	5
	搬 送 人 員				9	2		29			133	3	176	
8	出 場 件 数	1		1	11	3		37		3	152	4	212	17
	搬 送 人 員				10	3		35		3	142	2	195	
9	出 場 件 数				2		2	34		1	99	4	142	8
	搬 送 人 員				2		2	33		1	93	3	134	
10	出 場 件 数				6	1	1	24			100	4	136	9
	搬 送 人 員				6	1	1	23			92	4	127	
11	出 場 件 数				4			26		2	103	4	139	12
	搬 送 人 員				3			24		2	97	1	127	
12	出 場 件 数	1		1	4	1		32		1	152	8	200	7
	搬 送 人 員			1	4	1		32		1	146	8	193	
合計	出 場 件 数	5		5	83	13	6	365	1	16	1,352	68	1,914	114
	搬 送 人 員			1	79	13	6	345	1	13	1,285	57	1,800	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
	件数/人員													
令和2年	出場件数	4		5	73	11	5	289	6	9	963	110	1,475	95
	搬送人員	1		4	72	11	6	277	5	3	899	108	1,386	
令和3年	出場件数	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608	101
	搬送人員		1	5	72	19	5	311		2	1,002	91	1,508	
令和4年	出場件数	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696	109
	搬送人員			2	69	16	8	300	3	3	1,110	78	1,589	
令和5年	出場件数	6		6	93	21	6	386	2	15	1,249	86	1,870	112
	搬送人員	3		1	96	21	6	366	2	12	1,189	77	1,773	
令和6年	出場件数	5		5	83	13	6	365	1	16	1,352	68	1,914	114
	搬送人員			1	79	13	6	345	1	13	1,285	57	1,800	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況の推移



町内外在住別救急搬送人員状況

令和6年中

種別 在住	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
町内				42	5	3	283	1	12	1,149	42	1,537
町外			1	37	8	3	61		1	132	15	258
その他							1			4		5
合計			1	79	13	6	345	1	13	1,285	57	1,800

時間別救急出場状況

令和6年中

種別 時間	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0 ～ 2	1			2			10		1	69	3	86
2 ～ 4				3			8			51	2	64
4 ～ 6				1	1		7		4	53	1	67
6 ～ 8	2		1	7	1		30		1	121		163
8 ～ 10	1			8	2		46			165	5	227
10 ～ 12	1		1	5	1	3	59		1	159	17	247
12 ～ 14				15	4	1	44		2	135	9	210
14 ～ 16			1	14	2	1	41		2	128	9	198
16 ～ 18			1	12	1	1	39		4	122	9	189
18 ～ 20			1	8	1		35	1		144	3	193
20 ～ 22				4			33		1	113	6	157
22 ～ 24				4			13			92	4	113
合計	5		5	83	13	6	365	1	16	1,352	68	1,914

曜日別救急出場状況

令和6年中

種別 曜日	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
月			1	9	3		53	1	5	213	8	293
火	1			5	2	1	60		1	196	11	277
水	1			11	2		52		1	173	10	250
木	2			15	2	1	53		4	198	9	284
金				9	2		41		2	186	10	250
土				18		2	49		1	201	15	286
日	1		4	16	2	2	57		2	185	5	274
合 計	5		5	83	13	6	365	1	16	1,352	68	1,914

覚知別救急出場状況

令和6年中

種別 覚知	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
1 1 9 番	3		3	79	13	6	357	1	15	1,326	66	1,869
加 入	1		1	2			3		1	14	2	24
駆 け つ け	1			1			4			7		13
そ の 他			1	1			1			5		8
合 計	5		5	83	13	6	365	1	16	1,352	68	1,914

地区別救急出場状況

令和6年中

種別 地区	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
木 古 庭				9	1		18		2	75		105
上 山 口				8	1		29		2	108		148
下 山 口			3	12	1		20	1	1	104	25	167
一 色	2			12	5		98		1	407	14	539
堀 内	2		2	18	2	4	119		7	354	20	528
長 柄				23	3	2	78		3	300	7	416
町 外	1			1			3			4	2	11
合 計	5		5	83	13	6	365	1	16	1,352	68	1,914

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況

令和6年中

年齢区分	種別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
	傷病程度												
新生児	死 亡												
	重 症												
	中 等 症												
	軽 症												
	そ の 他												
	合 計												
乳幼児	死 亡												
	重 症											1	1
	中 等 症				1			2			7	1	11
	軽 症				3			9			45	1	58
	そ の 他												
	合 計				4			11			52	3	70
少年	死 亡												
	重 症				1							1	2
	中 等 症				2		2	2			4	2	12
	軽 症				4		2	6			27	1	40
	そ の 他												
	合 計				7		4	8			31	4	54
成人	死 亡			1						3	2		6
	重 症				3					2	12	3	20
	中 等 症				16	2		26		5	109	3	161
	軽 症				36	7	2	22			134		201
	そ の 他												
	合 計			1	55	9	2	48		10	257	6	388
高齢者	死 亡									1	18		19
	重 症					2		12			84	5	103
	中 等 症				7	1		147		2	570	35	762
	軽 症				6	1		119	1		272	4	403
	そ の 他										1		1
	合 計				13	4		278	1	3	945	44	1,288
合 計	死 亡			1						4	20		25
	重 症				4	2		12		2	96	10	126
	中 等 症				26	3	2	177		7	690	41	946
	軽 症				49	8	4	156	1		478	6	702
	そ の 他										1		1
	合 計			1	79	13	6	345	1	13	1,285	57	1,800

救急隊員の行った応急処置

令和6年中

種別 応急処置					
	急病	交通	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	1,285	79	345	91	1,800
止血	9	3	25	2	39
固定	26	50	123	9	208
人工呼吸	5			1	6
心マッサージ	3				3
うち自動	2				2
心肺蘇生	38		1	6	45
うち自動	26		1	5	32
酸素吸入	288	5	18	33	344
気道確保	74		2	8	84
うち経鼻エアウェイ	1			3	4
うち喉頭鏡・鉗子等使用	3				3
うちラリnge [®] アルマスク等使用	20			1	21
気管挿管	1				1
保温	892	56	251	62	1,261
被覆	20	34	124	13	191
在宅療法継続	34		3		37
A 点滴	1				1
B 外 瘻	6		1		7
C その他	29		2		31
除細動	2				2
薬剤投与	15			3	18
その他の応急処置	1,281	79	345	91	1,796
血圧測定	1,243	79	337	84	1,743
聴診器	585	36	86	45	752
血中酸素飽和度測定	1,252	79	342	85	1,758
心電図	1,079	44	198	66	1,387
うち伝送					
静脈路確保	27		1	4	32
うちCPA前	4		1		5
血糖測定	5				5
エピペン投与					
ブドウ糖投与	1				1

収容状況

令和6年中

種別 収容先		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	搬 送 人 員
町内医療機関					14	3	2	77			435	9	540
町外医療機関	逗子市				2			6			6		14
	横須賀市			1	49	9	2	183	1	11	551	22	829
	鎌倉市				11	1	2	54		2	190	19	279
	横浜市				3			25			100	7	135
	その他										3		3
合 計				1	79	13	6	345	1	13	1,285	57	1,800

医療機関紹介状況

令和6年中

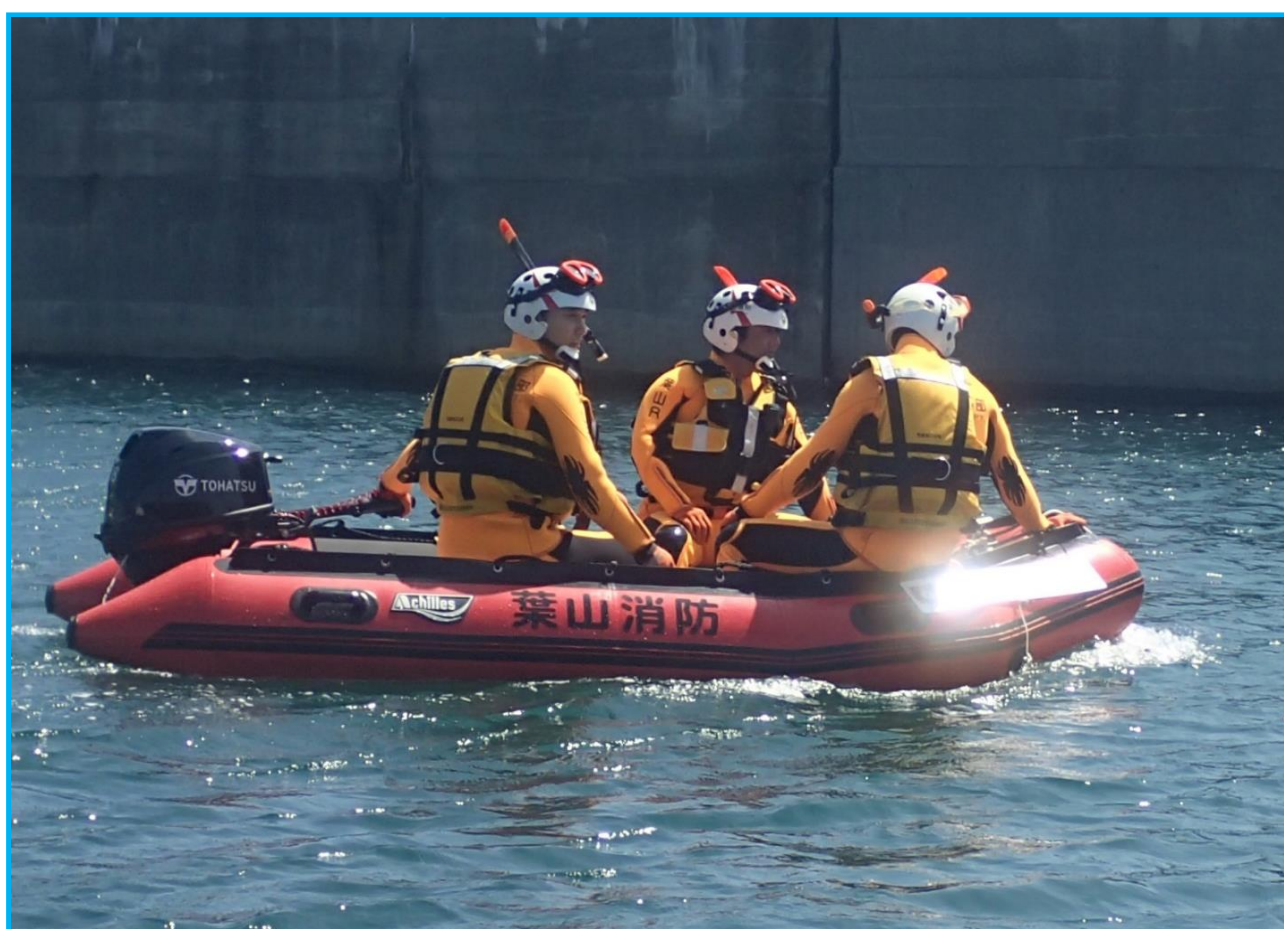
紹 介 先	管内当番医療機関	管内医療機関	その他の医療機関	合 計
件 数	42		142	184

応急手当普及啓発活動実施状況

令和6年中

講 習	実 施 要 綱 に 基 づく 普 及 講 習		その他の講習	合 計
	普通救命講習	上級救命講習		
実 施 回 数	19	2	6	27
受 講 人 数	121	15	173	309

救 助 関 係



水難救助訓練風景

救助概況

令和6年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 場 件 数		2		2	5				12			10	31
活 動 件 数				2	2				7			8	19
救 助 人 員				2	5				7			9	23
出 場 延 人 員		40		20	39				88			84	271

救助出場人員・活動人員状況

令和6年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 場 人 員	救 助 隊 員	8		9	19				41			37	114
	消 防 隊 員	8		5	11				11			20	55
	救 急 隊 員	6		6	9				36			27	84
	消 防 団 員	18											18
	合 計	40		20	39				88			84	271
活 動 人 員	救 助 隊 員			9	8				24			31	72
	消 防 隊 員			5	2				7			18	32
	救 急 隊 員			6	3				21			21	51
	消 防 団 員												
	合 計			20	13				52			70	155

発生場所別救助人員状況

令和6年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
屋 内	住 居								7			2	9
	その他の屋内											1	1
屋 外	道 路	高 速 道 路											
		その他の道路		2									2
	水 面	内 水 面											
		外 水 面			5								5
	山 岳												
	その他の屋外											5	5
地 下													
そ の 他												1	1
合 計				2	5				7			9	23

救助出場車両・活動車両状況

令和6年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 場 車 両 等	救 助 工 作 車	1		2	1				8			8	20
	消防ポンプ自動車	4		2	5				11			9	31
	救 急 自 動 車	2		3	5				12			11	33
	そ の 他	1			4				5			5	15
	消 防 団 車 両	5											5
	合 計	13		7	15				36			33	104
活 動 車 両 等	救 助 工 作 車			2	1				4			5	12
	消防ポンプ自動車			2	2				5			7	16
	救 急 自 動 車				1				3			4	8
	そ の 他			3	1				6			7	17
	消 防 団 車 両												
	合 計			7	5				18			23	53

発生場所別救助出場（活動）状況

令和6年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
屋 内	住 居								12 (7)			3 (2)	15 (9)
	そ の 他 の 屋 内	2 (0)										1 (1)	3 (1)
屋 外	道 路												
	高速道路												
	その他の道路			2 (2)									2 (2)
	水 面												
	内 水 面												
	外 水 面				5 (2)								5 (2)
山 岳	山 岳												
	そ の 他 の 屋 外											5 (4)	5 (4)
地 下													
そ の 他												1 (1)	1 (1)
合 計		2 (0)		2 (2)	5 (2)				12 (7)			10 (8)	31(19)

() 内は活動件数を表す

時間別救助出場（活動）状況

令和6年中

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自然 水 害 災 等 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
0 ～ 2							1 (0)				1 (0)
2 ～ 4											
4 ～ 6											
6 ～ 8	2 (0)		1 (1)								3 (1)
8 ～ 10							1 (1)			2 (2)	3 (3)
10 ～ 12			1 (1)	1 (1)			3 (1)			2 (2)	7 (5)
12 ～ 14							3 (2)			2 (1)	5 (3)
14 ～ 16							1 (0)			2 (1)	3 (1)
16 ～ 18				4 (1)			1 (1)			2 (2)	7 (4)
18 ～ 20							1 (1)				1 (1)
20 ～ 22							1 (1)				1 (1)
22 ～ 24											
合 計	2 (0)		2 (2)	5 (2)			12 (7)			10 (8)	31 (19)

() 内は活動件数を表す

地区別救助出場状況

令和6年中

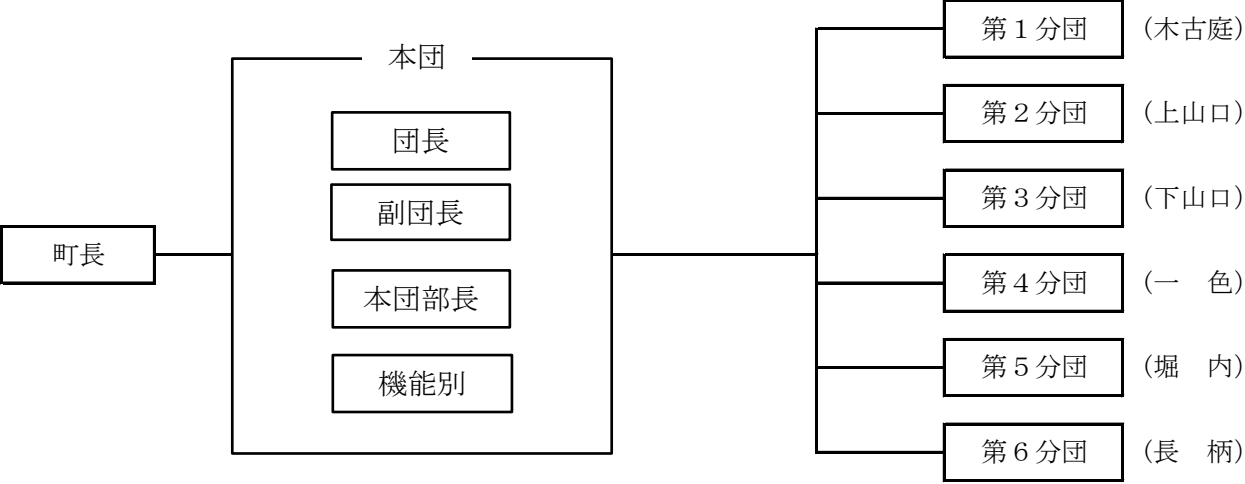
種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自然 水 害 災 等 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
木 古 庭										2	2
上 山 口										3	3
下 山 口				1			1			1	3
一 色	1		1	1			4			1	8
堀 内	1		1	3			4			2	11
長 柄							3			1	4
町 外											
合 計	2		2	5			12			10	31

消 防 団 関 係



消防署・消防団合同連携訓練（神奈川県消防学校）

消防団組織図



消防団員定員・実員

令和 7. 4. 1 現在

消 防 団 数	分 団 数	所 属	本 団				分 団					合 計
		役職	団 長	副 団 長	本 団 部 長	機 能 別	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	
		階級	団 長	副 団 長	本 団 部 長	団 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	
1	6	定員	1	2	6	27	6	6	12	24	114	198
		実員	1	2	6	22	6	6	12	24	97	176

消防団員報酬

令和 7. 4. 1 現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	基本 団 員	機 能 別 団 員	技 術 員
年 額	92,000	72,000	56,000	47,000	38,000	37,000	36,500	10,000	23,000

消防団員出動費用弁償

令和 7. 4. 1 現在

区 分	1 回あたりの金額	摘 要
災 害 出 場 (4 時 間 未 満)	4,000円	日をまたぐ出動の場合は、暦日を1日とし、連続する出動時間の合計により区分を適用する。
災 害 出 場 (4 時 間 以 上)	8,000円	
警 戒 出 場	3,000円	
訓 練 出 場	3,000円	

消防団詰所所在地

令和 7. 4. 1 現在

区分 分団	住 所	構 造	階 数	敷 地 面 積 (m^2)	延 面 積 (m^2)	完 成 年 月 日
第 1 分 団	木古庭 606番地の1	鉄骨造	2	217. 17	177. 49	平成2年11月13日
第 2 分 団	上山口 2405番地の3	鉄骨造	2	207. 60	117. 75	平成11年3月26日
第 3 分 団 (複合施設用途)	下山口 1705番地の1	鉄骨造	1	679. 61	85. 05	平成9年11月28日
第 4 分 団	一色 1503番地の3	鉄骨造	2	337. 00	123. 41	平成13年3月27日
第 5 分 団	堀内 774番地の1	鉄骨造	2	311. 40	113. 96	平成15年3月17日
第 6 分 団	長柄 488番地の3	鉄骨造	1	756. 00	122. 42	平成29年3月31日

消防団員配置

令和 7. 4. 1 現在

階級 分団	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
本 団	1	2			6		22	31
第 1 分 団			1	1	2	4	12	20
第 2 分 団			1	1	2	4	16	24
第 3 分 団			1	1	2	4	12	20
第 4 分 団			1	1	2	4	15	23
第 5 分 団			1	1	2	4	21	29
第 6 分 団			1	1	2	4	21	29
合 計	1	2	6	6	18	24	119	176

消防団員年齢

令和 7. 4. 1 現在

階級 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 ～ 24							10	10
25 ～ 29							9	9
30 ～ 34							5	5
35 ～ 39					1	3	13	17
40 ～ 44			1	2	3	7	22	35
45 ～ 49			2	2	2	7	21	34
50 ～ 54			1	2	7	3	13	26
55 ～ 59			2		2	1	11	16
60 ～ 64	1	1			3	3	12	20
65 歳 以 上		1					3	4
合 計	1	2	6	6	18	24	119	176
平 均 年 齢	63	65	50	47	51	47	44	

消防団員勤続年数

令和 7 . 4 . 1 現在

分団 年数	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
5 年 未 満	12		4	3	5	5	7	36
5 年 以 上 10 年 未 満	1	5	3	6	4	5	5	29
10 年 以 上 15 年 未 満	2	5	5	5	4	9	8	38
15 年 以 上 20 年 未 満	2	3	5	3	5	6	6	30
20 年 以 上 25 年 未 満	6	2	5	1	5	4		23
25 年 以 上 30 年 未 満	6	3	2	1			3	15
30 年 以 上	2	2		1				5
合 計	31	20	24	20	23	29	29	176

消防団出場状況

令和 6 年度

分団 出場	回 数 人 員	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
火災	回 数	1			2	2			5
	人 員	1			17	9			27
訓練	回 数	14	11	12	13	12	16	33	111
	人 員	42	55	53	72	54	72	293	641
警戒	回 数	2	12	8	7	14	11	9	63
	人 員	11	92	104	88	126	136	140	697
風水害	回 数					1			1
	人 員					6			6
その他	回 数								
	人 員								
合 計	延 回 数	17	23	20	22	29	27	42	180
	延 人 員	54	147	157	177	195	208	433	1, 371

消防団現有車両機械

令和7.4.1現在

区分 分団	配 置 車 両	車 両 会 社 名	年 式	登 録 年 月 日	原 動 機 ポ ン プ				
					エンジン 社 名	気筒容積 (CC)	ポ ン プ 社 名	ポ ン プ 型 式	ポ ン プ 級 別
第1分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	トヨタ	令和5年	令和5年 3月8日	トヨタ	1,990	モリタ	MZI	A-2
	資 機 材 搬 送 車	日 産	平成29年	平成29年 12月5日	日 産	650			
	小 型 動 力 ポ ン プ		平成27年	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第2分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	トヨタ	令和6年	令和6年 2月9日	トヨタ	1,990	モリタ	MZI	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	平成26年	平成26年 3月17日	ダイハツ	650	トーハツ H26年式 526CC	VF63AS	B-2
第3分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	トヨタ	令和7年	令和7年 1月10日	トヨタ	1,990	モリタ	MZI	A-2
	資 機 材 搬 送 車	日 産	平成28年	平成28年 12月9日	日 産	650			
	小 型 動 力 ポ ン プ		平成26年	平成26年 9月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第4分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	トヨタ	令和2年	令和2年 2月12日	トヨタ	2,980	モリタ	MZI	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	スバル	平成20年	平成20年 10月30日	ス バ ル	650	トーハツ H27年式 209CC	VF21BS	C-1
第5分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	平成22年	平成22年 3月19日	日 野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	平成22年	平成22年 12月2日	ダイハツ	650	トーハツ H22年式 526CC	VF63AS	B-2
第6分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	平成21年	平成21年 10月15日	日 野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	資 機 材 搬 送 車	日 産	平成30年	平成30年 11月26日	日 産	650			
	小 型 動 力 ポ ン プ		平成27年	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1

消防団備品配置

令和 7 . 4 . 1 現在

分団 備品	合 計	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団
消 防 ポ ン プ 自 動 車	6		1	1	1	1	1	1
小 型 動 力 ポ ン プ	3		1		1			1
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	3			1		1	1	
資 機 材 搬 送 車	3		1		1			1
制 服	154	9	20	24	20	23	29	29
活 動 服	154	9	20	24	20	23	29	29
安 全 帽	173	9	30	27	26	24	26	31
救 助 用 半 長 靴	154	9	20	24	20	23	29	29
防 火 衣	152	6	24	27	20	20	35	20
防 火 帽	156	6	30	26	20	21	34	19
デ ジ タ ル 簡 易 無 線 機	65	16	8	8	8	8	9	8
特 定 小 電 力 無 線 機	20		5	5	5		5	
ホ ー ス （ 5 0 mm ）	248		41	48	40	41	35	43
応 急 処 置 用 セ ッ ト	8		2	2	1	1	1	1
担 架	6		1	1	1	1	1	1
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	10		2	2	2	2	1	1
チ ェ ー ン ソ ー	15		3	3	2	3	2	2
バ ー ル	16		2	3	3	3	3	2
拡 声 器	11		1	3	2	3		2
発 動 発 電 機	16		4	2	2	3	2	3
投 光 機	18		3	4	2	4	3	2
救 命 ボ ー ト	1	1						
救 命 胴 衣	113		15	16	26	26	20	10
大 型 テ ン ト	1	1						

令和 7 年版消防年報

編集・発行 葉山町消防本部

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地の10

TEL 046(876)0119 FAX 046(876)1263